

○現在実施中のアンケート等

- ・市川市の市政に関するアンケート(第三次実施計画 市民意向調査)
- ・市川市総合計画 第三次実施計画 3年間のふりかえり
- ・結婚・出産・子育て・定住に関する市民アンケート
(まち・ひと・しごと創生総合戦略 市民意向調査)

市川市の市政に関する市民アンケート

市民意向調査にご協力ください

質問票

日ごろから市政の運営にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、市川市では「ともに築く 自然とやさしさがあふれる 文化のまち いちかわ」を将来都市像として定めたⅠ＆Ⅰプラン21（市川市総合計画）に基づき、平成29年度からの3年間に取り組む事業を定めた第三次実施計画を推進しています。そして、現在、これに続く次期計画を検討しています。

そこで、第三次実施計画にもとづくこれまでの市の取り組みについて、市民の皆さまのご意見を伺い、今後の市政運営の参考資料として活用させていただきたいと考えております。同封しました冊子「3年間のふりかえり」は、第三次実施計画の取り組み内容をまとめたものです。アンケートの記入にあたって、参考としてください。

なお、このアンケートは、対象となる方の中から3,000人をコンピュータ処理により無作為に抽出し、送付しております。ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、皆様にご迷惑をおかけすることはなく、調査の目的以外に利用されることはありませんので、お考えのままをご回答ください。

調査の趣旨にご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

《ご記入にあたって》

令和元年10月
市 川 市

1. 回答は無記名です。質問票には、お名前は書かないよう、お願いいたします。
2. 回答の記入は、宛名のご本人が行ってください。
3. 回答は、設問ごとに、『あてはまるものに○印をつける』か、または『回答欄にあてはまる番号を記入』してください。
4. ご記入が済みましたこの質問票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、11月11日（月）までにご投函ください。
5. この質問票のみ返信し、同封しました冊子「3年間のふりかえり」は、返送しないでください。
6. この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

市川市 企画部 企画課 TEL 047-712-8591（直通）

問 1 あなたご自身のことについておたずねします。（それぞれ、当てはまるもの 1 つに○を付けてください。）

設 問		
1. 性 別	1. 男性 2. 女性 3. その他	
2. 年 齢	1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上	
3. 職 業	1. 会社員(常勤) 2. パートタイム、アルバイト、内職 3. 公務員 4. 自営業（農業除く） 5. 農業従事 6. 医師、弁護士等の自由業 7. 家事専従 8. 学生 9. 無職 10. その他	
4. 市川市にお住いの期間	1. 5年未満 2. 5～10年未満 3. 10～20年未満 4. 20～30年未満 5. 30年以上	
5. 同居人	1. 単身 2. 夫婦のみ 3. 二世帯同居(親と子ども) 4. 三世帯同居(親と子供と孫) 5. その他	
6. お住まいの地区	1. 大柏地区	大町、 大野町、 奉免町、 柏井町、 南大野
	2. 宮久保地区	宮久保3～6丁目、 北方町4丁目、 東菅野4・5丁目、 下貝塚
	3. 曽谷地区	曽谷、 宮久保1～2丁目、 国分1丁目、 東国分、 稲越町
	4. 国分・国府台地区	堀之内、 北国分、 中国分、 国府台、 国分2～7丁目
	5. 市川地区	真間、 市川、 須和田2丁目
	6. 八幡地区	菅野、 平田1・2丁目、 須和田1丁目、 八幡3丁目、 東菅野1～3丁目
	7. 中山地区	八幡1・2・4～6丁目、 北方、 本北方、 若宮、 鬼越、 中山、 高石神
	8. 市川駅南地区	新田、 市川南、 平田3・4丁目、 大洲、 大和田
	9. 本八幡駅南地区	南八幡、 鬼高、 稲荷木、 東大和田、 田尻1・2丁目
	10. 信篤地区	田尻3～5丁目、 田尻、 高谷、 高谷新町、 原木、 二俣、 二俣新町、 東浜
	11. 行徳地区	河原、 下新宿、 本行徳、 本塩、 関ヶ島、 伊勢宿、 妙典、 上妙典、 下妙典、 富浜、 末広、 塩焼、 宝、 幸、 入船、 日之出、 千鳥町、 加藤新田、 高浜町、 塩浜1丁目
	12. 南行徳地区	押切、 行徳駅前、 湊、 湊新田、 香取、 欠真間、 相之川、 新井、 広尾、 島尻、 福栄、 新浜、 南行徳、 塩浜2～4丁目

問2 市の施策や事業についてお伺いします。

設 問

【①実施計画事業の取り組み状況】

「実施計画事業」の取り組み状況について、別冊「3年間のふりかえり」をご覧ください、どのように感じましたか？

※実施計画事業が3年間で支出した事業費、3年間で取り組んだ結果については、別冊「3年間のふりかえり」をご覧ください。

【②施策の満足度】

実施計画事業の取り組み状況などを踏まえ、市のそれぞれの「施策」（分野）について、満足していますか？

それぞれ、当てはまるもの1つに○を付けてください。

回答例

施策	施策の目標	【①実施計画事業の取り組み状況】							【②施策の満足度】					
		ふりかえり		実施計画事業	期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	施策	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない 又は どちらとも いえない
		頁	No.											
保健・医療	健康づくりの推進	P7	O1	子育て世代包括支援事業		○			保健・医療	○				
	地域における医療環境の充実 健康づくりの推進 公衆衛生の推進	P7	-	・2.5次救急医療運営事業 ・妊婦乳児健康診査事業 ・乳児家庭全戸訪問事業 ・予防接種事業	○									
子育て	健康づくりの推進	P7	O1	子育て世代包括支援事業					子育て					
	地域における医療環境の充実 健康づくりの推進 公衆衛生の推進	P7	-	・2.5次救急医療運営事業 ・妊婦乳児健康診査事業 ・乳児家庭全戸訪問事業 ・予防接種事業										
	子どもの権利保障と配慮を要する子どもの支援	P8	O2	児童虐待対策事業										
	子どもの権利保障と配慮を要する子どもの支援	P8	O3	ひとり親家庭自立支援事業										
	地域における子育て支援	P8	O4	保育士確保対策事業										
	地域における子育て支援	P9	O5	保育園整備計画事業										
	子どもの権利保障と配慮を要する子どもの支援 地域における子育て支援	P9	-	・ひとり親家庭医療費助成事業 ・こども発達相談室事業 ・私立幼稚園預かり保育事業 ・ファミリー・サポート・センター事業 ・子ども医療費助成事業										

3

施策	施策の目標	【①実施計画事業の取り組み状況】							【②施策の満足度】					
		ふりかえり		実施計画事業	期待 以上	期待 通り	足り ない	やり 過ぎ	施策	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わからない 又は どちらとも いえない
		頁	No.											
地域福祉	地域への参加と交流の体制づくり	P10	O6	地域ケアシステム推進事業					地域福祉					
	地域への参加と交流の体制づくり		-	・民生委員活動事業 ・避難行動要支援者対策事業										
障がい者福祉	生活支援の充実	P11	O7	地域生活支援事業（相談支援事業）					障がい者福祉					
	社会参加の促進 生活支援の充実 医療・リハビリテーション機能 の充実 地域の理解・支援の促進	P11 P12	-	・自立・就労のための訓練支援事業 ・障がい者手当支給事業 ・日常生活の支援、補装具・日常生活 用具の支援事業 ・医療費助成事業 ・地域活動支援センター事業、啓発事 業										
高齢者福祉	介護予防と生きがいづくりの充実	P12	O8	一般介護予防事業					高齢者福祉					
	介護サービス及び生活支援 サービスの充実	P12	O9	認知症対策事業										
	介護予防と生きがいづくりの充実 介護サービス及び生活支援 サービスの充実	P13	-	・シルバー人材センター事業 ・地域包括支援センター運営事業 ・介護保険事業										
社会保障・ 住まい	安心して暮らせる社会保障の充実	P13	10	生活困窮者自立支援事業					社会保障 ・住まい					
	安心して暮らせる社会保障の充実 住まいの安心・安全への支援	P13	-	・生活保護事業 ・市営住宅営繕事業										
スポーツ	スポーツ環境の充実	P14	11	北市川運動公園整備・運営事業					スポーツ					
	スポーツ環境の充実	P14	-	・「夢の教室」運営事業 ・スポーツ指導者育成事業										

施策	施策の目標	【①実施計画事業の取り組み状況】							【②施策の満足度】					
		ふりかえり		実施計画事業	期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	施策	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない 又は どちらとも いえない
		頁	No.											
子どもの教育	子どもの育成	P15	12	校内塾・まなびくらぶ事業					子どもの教育					
	家庭・学校・地域の連携	P15	13	コミュニティ・スクール推進事業										
	教育環境の整備の充実	P15	14	教育相談事業										
	教育環境の整備の充実	P16	15	義務教育学校整備事業										
	教育環境の整備の充実	P16	16	放課後保育クラブ運営事業										
	子どもの育成 家庭・学校・地域の連携 教育環境の整備の充実	P16 P17	-	・英語教育・国際理解教育推進事業 ・社会科副読本等製作事業 ・家庭教育学級運営事業 ・少人数学習等担当補助教員事業 ・学校施設トイレ改修事業										
生涯学習	生涯を通して学び続けられる学習環境の実現	P17	17	公民館主催講座活動事業					生涯学習					
	生涯を通して学び続けられる学習環境の実現	P17	-	・図書館運営事業 ・いちかわ市民アカデミー講座事業										
雇用・労働	就労の支援	P18	18	若年者等就労支援事業					雇用・労働					
	就労の支援	P18	-	・雇用促進事業										
消費生活	消費者被害の救済	P19	-	・消費生活センター相談及び啓発事業					消費生活					
人権・男女共同参画	人権尊重社会の実現	P19	19	DV対策事業					人権・男女共同参画					
	人権尊重社会の実現 男女共同参画社会の実現	P20	-	・人権啓発事業 ・男女共同参画センター講座事業										
平和	平和意識の高揚	P20	-	・平和啓発事業					平和					
芸術・文化	豊かな心を育む文化活動の支援	P21	20	「市川の文化人展」等事業					芸術・文化					
	豊かな心を育む文化活動の支援	P21	-	・市民会館管理運営事業										

施策	施策の目標	【①実施計画事業の取り組み状況】								【②施策の満足度】					
		ふりかえり		実施計画事業	期待 以上	期待 通り	足り ない	やり 過ぎ		施策	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わからない 又は どちらとも いえない
		頁	No.												
文化的資産	地域を彩る文化的資産の保全・活用	→	P22	21	行徳地区の歴史と文化をいかしたまちづくり事業					→	文化的資産				
	地域を彩る文化的資産の保全・活用		P22	-	・市史編さん事業										
文化の創造	新たな文化的資源の創出と情報発信	→	P23	22	いちかわ ふらり まち歩き事業					→	文化の創造				
	新たな「まち文化」の構築 新たな文化的資源の創出と情報発信 多文化共生のまちづくり		P23	-	・観光イベント振興事業 ・アイ・リンクタウン展望施設運営事業 ・多文化共生推進事業										
危機管理・消防	危機管理体制の強化	→	P24	23	防災用品備蓄事業					→	危機管理・消防				
	危機管理体制の強化		P24	24	地域防災力強化事業										
	消防力の強化		P24	-	・消防活動車両整備事業										
治水	水害のないまち	→	P25	25	公共下水道整備雨水事業					→	治水				
	水害のないまち		P25	26	蓋架柵渠（ふたかけさっきょ）改修事業										
	水害のないまち		P25	-	・排水路整備事業										
防犯	防犯まちづくりの推進	→	P26	27	防犯対策事業					→	防犯				
	防犯まちづくりの推進		P26	-	・青色防犯パトロール推進事業										
交通安全	道路の安全性の向上	→	P26	28	橋りょう長寿命化計画事業					→	交通安全				
	道路の安全性の向上		P27	29	まごころ道路整備事業										
	道路の安全性の向上 交通安全に関する意識啓発		P27	-	・道路パトロール補修事業 ・自転車安全利用啓発事業 ・狭あい道路対策事業										
ユニバーサルデザイン	まちのユニバーサルデザイン化	→	P28	30	交通バリアフリー推進事業					→	ユニバーサルデザイン				
	まちのユニバーサルデザイン化		P28	31	人にやさしい道づくり重点地区整備事業										
	公益施設のユニバーサルデザイン化		P28	-	千葉県福祉のまちづくり条例に基づく届出審査										

施策	施策の目標	【①実施計画事業の取り組み状況】							【②施策の満足度】					
		ふりかえり		実施計画事業	期待 以上	期待 通り	足り ない	やり 過ぎ	施策	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わからない 又は どちらとも いえない
		頁	No.											
道路・交通	環境負荷を低減し都市機能を向上させる道路交通	P29	32	都市計画道路3・4・12号整備事業					道路・交通					
	環境負荷を低減し都市機能を向上させる道路交通	P29	33	都市計画道路3・6・32号整備事業										
	快適な歩行者自転車空間づくり 公共交通の充実	P29	-	・放置自転車対策事業 ・コミュニティバス運行事業										
下水道	水環境の良好な保全と整備	P30	34	公共下水道整備汚水事業					下水道					
	水環境の良好な保全と整備	P30	-	・下水道総合地震対策事業 ・下水道施設長寿命化対策事業										
住宅・住環境	健康で安全・安心して暮らせる 住まいとまちづくりの実現	P31	35	耐震診断・改修助成事業					住宅・ 住環境					
	良好な住まいと地域に根ざした まちづくりの実現	P31	36	空き家対策事業										
	健康で安全・安心して暮らせる 住まいとまちづくりの実現 良好な住まいと地域に根ざした まちづくりの実現	P31 P32	-	・マンション管理支援事業 ・危険コンクリートブロック塀等除去事業 ・あんしん住宅推進事業										
公共施設	公共施設等の有効的、効率的な活用	P32	37	庁舎整備事業					公共施設					
	公共施設等の有効的、効率的な活用	P32	-	・公共施設マネジメント事業										
土地利用	都市経営の観点から効率的で 適切な土地利用の誘導	P33	38	JR武蔵野線沿線まちづくり事業					土地利用					
	地域ごとの特性を活かした持続 可能な地域づくり	P33	39	塩浜地区整備事業										
	都心に近い住宅都市としての 魅力ある市街地の形成	P33	-	・都市計画制度の運用										
景観	まちの個性に彩られた表情 豊かな景観の形成	P34	40	都市景観形成事業					景観					
	まちの個性に彩られた表情 豊かな景観の形成	P34	-	・景観法に基づく届出・確認制度										
商工業	商工業の活性化	P35	41	女性起業家支援事業					商工業					
	商工業の活性化	P35	42	地域ブランド活性化事業										
	商工業の活性化	P35	-	・中小企業融資制度										

施策	施策の目標	【①実施計画事業の取り組み状況】							【②施策の満足度】					
		ふりかえり		実施計画事業	期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	施策	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない 又は どちらとも いえない
		頁	No.											
都市農業	活力に満ちた農業の推進	P36	43	施設園芸支援事業					都市農業					
	環境に配慮した農業の推進 市民に親しまれる農業の推進	P36	-	・都市農業振興支援事業 ・体験農園事業										
水産業	持続可能な漁業環境及び経営・流通環境の整備	P37	44	市川漁港整備事業					水産業					
	市民と共存する都市型水産業の振興	P37	-	・魚食文化フォーラム事業										
自然環境	生物多様性の確保	P38	45	生物多様性等推進事業					自然環境					
	生物多様性の確保	P38	-	・自然環境管理事業										
公園緑地	魅力ある公園の提供	P39	46	小塚山公園整備事業					公園緑地					
	地域の緑の保全と活用 花と緑が豊かなまちづくり 水と緑のネットワークの形成	P39	-	・斜面緑地崩壊対策事業 ・公園施設維持管理事業 ・青空こども広場整備事業										
河川・水辺	親しみのある水辺空間の創造	P39	-	・三番瀬の保全・再生					河川・水辺					
地球環境	地球温暖化への対応	P40	47	地球温暖化対策推進事業					地球環境					
	地球温暖化への対応	P40	-	・スマートハウス普及促進事業										
生活環境	身近な環境の保全	P40	48	大気汚染対策事業					生活環境					
	身近な環境の保全 市民の健康と安全で清潔な生活環境の保持	P41	-	・水質汚濁防止対策事業 ・市民マナー条例推進事業										
資源循環型社会	3Rの推進	P41	49	ごみ発生抑制等啓発事業					資源循環型社会					
	3Rの推進 廃棄物の適正処理の推進	P41	-	・循環的利用推進事業 ・ごみ収集運搬及び不適正排出対策事業										
協働・市民参加	協働によるまちづくりの推進 市民参加の推進	P42	-	・大学との連携（包括協定推進事業） ・e-モニター制度運営事業					協働・市民参加					
情報の発信・提供	市民と行政の情報共有化	P42	50	シティセールス事業					情報の発信・提供					
	市民と行政の情報共有化 公文書の正確迅速な取り扱い 情報公開の一層の推進	P43	-	・広報紙発行事業 ・SNS活用事業 ・保存文書整備事業 ・情報公開・個人情報保護事業										

施策	施策の目標	【①実施計画事業の取り組み状況】							【②施策の満足度】					
		ふりかえり		実施計画事業	期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ	施策	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない 又は どちらとも いえない
		頁	No.											
地域 コミュニ ティ・ 市民活動	地域コミュニティの活性化	P43	51	自治会総合支援事業					地域 コミュニ ティ・ 市民活動					
	市民活動の活性化と 公共サービスの担い手の創生	P44	52	いちかわ市民活動サポート事業										
	市民活動の活性化と 公共サービスの担い手の創生	P44	-	・ボランティア活動等支援事業										
政策展開	法務能力の向上	P44	-	・職員への法務情報の発信					政策展開					
行政体制	適正な人事管理 定員の適正化 民間活力の活用	P45	-	・職員研修の実施 ・行財政改革の推進 ・公共施設の整備・運営に関するPPPの推進					行政体制					
窓口・ 相談機能	市民相談機能の充実 窓口サービスの充実	P45	-	・総合市民相談事業 ・パスポート発給事業					窓口・ 相談機能					
財政運営	自主財源の充実・確保	P45	-	・納税環境整備事業					財政運営					
広域行政	広域行政の推進	P46	-	・広域行政推進事業					広域行政					
情報化	電子行政サービスの刷新と拡充 ICTを活かした行政事務の効 率化の推進 情報システムの安全性の強化	P46	-	・個人番号カード普及事業 ・情報システム運用管理事業 ・情報セキュリティ強化対策事業					情報化					

問3の1 今後、『真の豊かさを感じるまち』の実現にむけ、市が重点的に推進すべきと考える分野（施策）はどのような分野ですか。
（3つまで回答欄に番号を記入）

回答欄	1 保健・医療（地域の医療環境整備、健康づくり、疾病や感染症の予防）	2 子育て（児童虐待防止、ひとり親家庭支援、待機児童解消、地域の子育て支援）
	3 地域福祉（地域の支えあい、地域への参加と交流の体制づくり）	4 障がい者福祉（障がい者の就労支援、生活支援、自立のための医療支援）
	5 高齢者福祉（介護予防、高齢者の就労支援、在宅生活支援サービス）	6 社会保障・住まい（国民年金、国民健康保険、生活保護、市営住宅）
	7 スポーツ（スポーツ施設の整備、スポーツ指導者の育成）	8 子どもの教育（学校教育、家庭教育、放課後保育クラブ）
	9 生涯学習（生涯学習機会の提供、図書館・公民館の充実）	10 雇用・労働（就労のための相談支援、就労機会の拡充）
	11 消費生活（消費者への情報提供、消費者被害の相談）	12 人権・男女共同参画（ワーク・ライフ・バランスの推進、DV等の被害救済、多様性社会の推進）
	13 平和（平和啓発活動）	

問3の2 今後、『彩り豊かな文化と芸術を育むまち』の実現にむけ、市が重点的に推進すべきと考える分野（施策）はどのような分野ですか。（1つまで回答欄に番号を記入）

回答欄	14 芸術・文化（文化施設の整備、文化活動への支援）
	15 文化的資産（文化的資産の保全・継承・活用）
	16 文化の創造（市民納涼花火大会・市民まつりなどまちの文化の構築、国際交流の推進）

問3の3 今後、『安全で快適な魅力のあるまち』の実現にむけ、市が重点的に推進すべきと考える分野（施策）はどのような分野ですか。（3つまで回答欄に番号を記入）

回答欄	17 危機管理・消防（危機管理体制・地域防災力の強化、消防・救急体制）	18 治水（水害対策、河川改修、雨水排水設備の整備）
	19 防犯（防犯灯、防犯カメラ、自主防犯活動の推進）	20 交通安全（道路の維持管理、まごころゾーンの整備、自転車の安全利用）
	21 エバーグリーン（段差のない歩道整備、公共施設への多機能トイレ整備）	22 道路・交通（都市計画道路整備、放置自転車対策、道路の管理）
	23 下水道（下水道の整備）	24 住宅・住環境（住宅の耐震化支援、市街地再開発事業）
	25 公共施設（公共施設の維持管理、整備）	26 土地利用（既成市街地の再整備、市街化調整区域の適切な土地利用）
	27 景観（ガーデン・シティ・まちづくり、建築物の景観規制）	28 商工業（商店街への支援、起業支援、企業誘致）
	29 都市農業（安全安心な農産物生産の支援、農業者の育成・支援、市民農園）	30 水産業（漁業協同組合への支援、漁港整備、水産業のPR）

問3の4 今後、『人と自然が共生するまち』の実現にむけ、市が重点的に推進すべきと考える分野（施策）はどのような分野ですか。（2つまで回答欄に番号を記入）

回答欄	31 自然環境（生物多様性の啓発・普及促進、環境学習）
	32 公園・緑地（都市公園の整備、樹林地やクロマツの保全）
	33 河川・水辺（河川や三番瀬の再生・保全）
	34 地球環境（地球環境問題の啓発・環境学習、地球温暖化への対応）
	35 生活環境（大気環境保全、水環境保全、騒音・悪臭対策、市民マナー）
	36 資源循環型社会（3Rの推進、クリーンセンターの計画的整備・維持管理）

問3の5 今後、『市民と行政がともに築くまち』の実現にむけ、市が重点的に推進すべきと考える分野（施策）はどのような分野ですか。
（3つまで回答欄に番号を記入）

回答欄	37 協働・市民参加（協働まちづくり、市民の市政参加の機会の提供）	38 情報の発信・提供（広報活動、市政情報公開の推進）
	39 地域コミュニティ・市民活動（自治会活動の支援、市民活動団体への支援）	40 政策展開（市政運営に関する情報の収集・評価の実施）
	41 行政体制（人事管理、定員の適正化、民間活力の活用）	42 窓口・相談機能（市民相談の充実、窓口サービスの充実）
	43 財政運営（財政健全化の推進、コンビニ納税、クレジットカード納税）	44 広域行政（近隣自治体等との連携の推進）
	45 情報化（電子行政サービス、AI・ICTの活用、情報セキュリティ）	

問4 最後に、市の取り組みに対するご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。（自由意見）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、11月11日（月）までに投函してくださ

返信不要

市川市総合計画 第三次実施計画

【平成 29 年度(2017 年度)～令和元年度(2019 年度)】

3 年間のふりかえり



この「3 年間のふりかえり」は、市川市の総合計画を推進するための第三次実施計画にもとづき、平成 29 年度(2017 年度)から令和元年度(2019 年度)までの間、市で取り組んだ主な事業をまとめたものです。

市民意向調査において、各事業の取り組み状況について、どのように感じられているか、ご回答いただく際の参考としてお使いください。

また、アンケートの実施にあたりましては、市民意向調査の調査票のみご返送ください。こちらの冊子の返送は不要です。

【第三次実施計画の体系】

(実施計画で推進している主な事業)

基本目標1 真の豊かさを感じるまち

■施策 01 保健・医療

01 子育て世代包括支援事業	…	P7
・2.5 次救急医療運営事業	…	P7
・妊婦乳児健康診査事業	…	P7
・乳児家庭全戸訪問事業	…	P7
・予防接種事業	…	P7

■施策 02 子育て

02 児童虐待対策事業	…	P8
03 ひとり親家庭自立支援事業	…	P8
04 保育士確保対策事業	…	P8
05 保育園整備計画事業	…	P9
・ひとり親家庭医療費助成事業	…	P9
・こども発達相談室事業	…	P9
・私立幼稚園預かり保育事業	…	P9
・ファミリー・サポート・センター事業	…	P9
・子ども医療費助成事業	…	P9

■施策 03 地域福祉

06 地域ケアシステム推進事業	…	P10
・民生委員活動事業	…	P10
・避難行動要支援者対策事業	…	P10

■施策 04 障がい者福祉

07 地域生活支援事業(相談支援事業)	…	P11
・自立・就労のための訓練支援事業	…	P11
・障がい者手当支給事業	…	P11
・日常生活の支援、補装具・日常生活用具の支援事業	…	P11
・医療費助成事業	…	P11
・地域活動支援センター事業、啓発事業	…	P12

■施策 05 高齢者福祉

08 一般介護予防事業	…	P12
09 認知症対策事業	…	P12
・シルバー人材センター事業	…	P13
・地域包括支援センター運営事業	…	P13
・介護保険事業	…	P13

(実施計画で推進している主な事業)

基本目標1 真の豊かさを感じるまち

■施策 06

社会保障・住まい

- 10 生活困窮者自立支援事業 … P13
- ・生活保護事業 … P13
- ・市営住宅営繕事業 … P13

■施策 07

スポーツ

- 11 北市川運動公園整備・運営事業 … P14
- ・「夢の教室」運営事業 … P14
- ・スポーツ指導者育成事業 … P14

■施策 08

子どもの教育

- 12 校内塾・まなびくらぶ事業 … P15
- 13 コミュニティ・スクール推進事業 … P15
- 14 教育相談事業 … P15
- 15 義務教育学校整備事業 … P16
- 16 放課後保育クラブ運営事業 … P16
- ・英語教育・国際理解教育推進事業 … P16
- ・社会科副読本等製作事業 … P16
- ・家庭教育学級運営事業 … P16
- ・少人数学習等担当補助教員事業 … P16
- ・学校施設トイレ改修事業 … P17

■施策 09

生涯学習

- 17 公民館主催講座活動事業 … P17
- ・図書館運営事業 … P17
- ・いちかわ市民アカデミー講座事業 … P17

■施策 10

雇用・労働

- 18 若年者等就労支援事業 … P18
- ・雇用促進事業 … P18

■施策 11

消費生活

- ・消費生活センター相談及び啓発事業 … P19

■施策 12

人権・男女共同参画

- 19 DV対策事業 … P19
- ・人権啓発事業 … P20
- ・男女共同参画センター講座事業 … P20

■施策 13

平和

- ・平和啓発事業 … P20

(実施計画で推進している主な事業)

■施策 14
芸術・文化

20 「市川の文化人展」等事業 … P21
・市民会館管理運営事業 … P21

■施策 15
文化的資産

21 行徳地区の歴史と文化をいかしたまちづくり事業 … P22
・市史編さん事業 … P22

■施策 16
文化の創造

22 いちかわ ふらり まち歩き事業 … P23
・観光イベント振興事業 … P23
・アイ・リンクタウン展望施設運営事業 … P23
・多文化共生推進事業 … P23

■施策 17
危機管理・消防

23 防災用品備蓄事業 … P24
24 地域防災力強化事業 … P24
・消防活動車両整備事業 … P24

■施策 18
治水

25 公共下水道整備雨水事業 … P25
26 蓋架柵渠(ふたかけさっきょ)改修事業 … P25
・排水路整備事業 … P25

■施策 19
防犯

27 防犯対策事業 … P26
・青色防犯パトロール推進事業 … P26

■施策 20
交通安全

28 橋りょう長寿命化計画事業 … P26
29 まごころ道路整備事業 … P27
・道路パトロール補修事業 … P27
・自転車安全利用啓発事業 … P27
・狭あい道路対策事業 … P27

■施策 21
ユニバーサルデザイン

30 交通バリアフリー推進事業 … P28
31 人にやさしい道づくり重点地区整備事業 … P28
・千葉県福祉のまちづくり条例に基づく届出審査 … P28

(実施計画で推進している主な事業)

■施策 22
道路・交通

- 32 都市計画道路 3・4・12 号整備事業 … P29
- 33 都市計画道路 3・6・32 号整備事業 … P29
- ・放置自転車対策事業 … P29
- ・コミュニティバス運行事業 … P29

■施策 23
下水道

- 34 公共下水道整備汚水事業 … P30
- ・下水道総合地震対策事業 … P30
- ・下水道施設長寿命化対策事業 … P30

■施策 24
住宅・住環境

- 35 耐震診断・改修助成事業 … P31
- 36 空き家対策事業 … P31
- ・マンション管理支援事業 … P31
- ・危険コンクリートブロック塀等除去事業 … P31
- ・あんしん住宅推進事業 … P32

■施策 25
公共施設

- 37 庁舎整備事業 … P32
- ・公共施設マネジメント事業 … P32

■施策 26
土地利用

- 38 JR 武蔵野線沿線まちづくり事業 … P33
- 39 塩浜地区整備事業 … P33
- ・都市計画制度の運用 … P33

■施策 27
景観

- 40 都市景観形成事業 … P34
- ・景観法に基づく届出・確認制度 … P34

■施策 28
商工業

- 41 女性起業家支援事業 … P35
- 42 地域ブランド活性化事業 … P35
- ・中小企業融資制度 … P35

■施策 29
都市農業

- 43 施設園芸支援事業 … P36
- ・都市農業振興支援事業 … P36
- ・体験農園事業 … P36

(実施計画で推進している主な事業)

■施策 30
水産業

- 44 市川漁港整備事業 … P37
・魚食文化フォーラム事業 … P37

■施策 31
自然環境

- 45 生物多様性等推進事業 … P38
・自然環境管理事業 … P38

■施策 32
公園緑地

- 46 小塚山公園整備事業 … P39
・斜面緑地崩壊対策事業 … P39
・公園施設維持管理事業 … P39
・青空こども広場整備事業 … P39

■施策 33
河川・水辺

- ・三番瀬の保全・再生 … P39

■施策 34
地球環境

- 47 地球温暖化対策推進事業 … P40
・スマートハウス普及促進事業 … P40

■施策 35
生活環境

- 48 大気汚染対策事業 … P40
・水質汚濁防止対策事業 … P41
・市民マナー条例推進事業 … P41

■施策 36
資源循環型社会

- 49 ごみ発生抑制等啓発事業 … P41
・循環的利用推進事業 … P41
・ごみ収集運搬及び不適正排出対策事業 … P41

■施策 37
協働・市民参加

- ・大学との連携(包括協定推進事業) … P42
・e-モニター制度運営事業 … P42

■施策 38
情報の発信・提供

- 50 シティセールス事業 … P42
・広報紙発行事業 … P43
・SNS 活用事業 … P43
・保存文書整備事業 … P43
・情報公開・個人情報保護事業 … P43

基本目標4 人と自然が共生するまち

基本目標5 市民と行政がともに築くまち

(実施計画で推進している主な事業)

基本目標5 市民と行政がともに築くまち	■施策 39 地域コミュニティ・市民活動	51 自治会総合支援事業 … P43 52 いちかわ市民活動サポート事業 … P44 ・ボランティア活動等支援事業 … P44
	■施策 40 政策展開	・職員への法務情報の発信 … P44
	■施策 41 行政体制	・職員研修の実施 … P45 ・行財政改革の推進 … P45 ・公共施設の整備・運営に関する PPP の推進 … P45
	■施策 42 窓口・相談機能	・総合市民相談事業 … P45 ・パスポート発給事業 … P45
	■施策 43 財政運営	・納税環境整備事業 … P45
	■施策 44 広域行政	・広域行政推進事業 … P46
	■施策 45 情報化	・個人番号カード普及事業 … P46 ・情報システム運用管理事業 … P46 ・情報セキュリティ強化対策事業 … P46

用語の説明

重点事業

- ・事業名の前に番号が振られている事業です。
- ・市の重要施策に位置付く事業の中から、市で推進できる事業(市単独事業または法律に定めのある事業のうち、任意または努力義務となっている事業)、かつ行政課題に直結する優先度が高い事業です。
- ・実施計画上で計画事業費及び数値目標を設定し、進行管理を行っています。

基礎的事業

- ・事業名の前に番号が振られていない事業です。
- ・市の取り組みのうち、基礎的で、継続的に実施している事業です。
- ・実施計画上では計画事業費及び数値目標を設定していません。

(基本目標1 真の豊かさを感じるまち)

施策01 保健・医療

保健・医療では、施策の目標である、地域における医療環境の充実、健康づくりの推進、公衆衛生の推進を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

1 子育て世代 包括支援事業	事業概要	妊娠、出産、子育てに係る母子の不安や負担を軽減し、児童虐待の予防につなげるため、妊娠期から子育て期にわたるまでの総合相談支援を行う窓口を設置した。
	事業費	■3年間合計で 約4,950万円 当初計画した事業費の約100%の支出が見込まれ、計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ Bランク 母子健康手帳交付時に、保健師等の専門職が面接・相談の上作成する「妊婦用マイプラン」及び「子育てマイプラン」の作成件数が3年間の合計で約15,550件と見込まれ、当初の計画18,000件に対し概ね達成した。

基礎的事業

2.5 次救急 医療運営事業	事業概要	安心して適切な医療を受けられるよう、脳血管疾患、循環器疾患等の重篤救急患者、小児科等夜間・休日の受入が少ない診療科の受入体制確保のため、1次、2次の救急医療機関の後方待機病院として地域の総合病院による2.5次救急医療体制の充実を図った。
妊婦乳児健康 診査事業	事業概要	妊婦届出時に、母子健康手帳と共に受診票(母子健康手帳別冊)を発行し、妊婦健診は14回、乳児健診は生後3～6か月、9～11か月時に各1回を、医療機関に委託して実施した。
乳児家庭 全戸訪問事業	事業概要	妊娠届出書をもとに、支援が必要な人や希望者へ妊婦訪問、出生連絡票や住民基本台帳をもとに新生児及び1～2か月児のいる家庭の全戸訪問、また希望者や保健相談事業、健康診査事業、健康教育事業等から支援が必要な家庭に訪問し、ニーズに応じた相談・指導を行った。
予防接種事業	事業概要	感染症の発生及びまん延を予防するため、定期予防接種及び任意予防接種である流行性耳下腺炎、定期接種対象外の高齢者肺炎球菌の予防接種を実施した。

施策 02 子育て

子育てでは、施策の目標である、子どもの権利保障と配慮を要する子どもの支援、地域における子育て支援を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

▶▶▶重点事業

2 児童虐待 対策事業	事業 概要	子ども家庭総合支援センターを設置し、虐待の通告を受けるとともに、子どもと子育てに関する問い合わせへの総合案内を実施した。
	事業費	■3年間合計で 約 3,480 万円 当初計画した事業費の約 110%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ C ランク 児童虐待相談件数が3年間の合計で約 1 万 3,510 件と見込まれ、当初の計画 1 万 7,100 件に対しやや不十分だった。 これは、児童虐待相談先の多様化などにより、見込より相談件数が少なかったことによるもの。
3 ひとり親家庭 自立支援事業	事業 概要	母子家庭・父子家庭の自立を図るため、相談や就業支援のための給付金の支給等の支援を行った。
	事業費	■3年間合計で 約 5,030 万円 予定を上回る給付金の申請件数があったため、当初計画した事業費の約 140%の支出が見込まれ、計画を大きく上回る事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ A ランク 各種給付金の支給件数が3年間の合計で 50 件と見込まれ、当初の計画 24 件に対し十分達成した。
4 保育士確保 対策事業	事業 概要	保育士を安定的に確保するため、民間保育施設に対し、保育士の確保につながる各種助成を行った。
	事業費	■3年間合計で 約 5 億6,090万円 保育士確保のため、保育人材就職支援事業等の新たな関連事業を実施したことにより、当初計画した事業費の約 460%の支出が見込まれ、計画を大きく上回る事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ A ランク 各種助成金の支給件数が3年間の合計で約 1,160 件と見込まれ、当初の計画 804 件に対し十分達成した。

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)

A:十分達成した(90%以上) C:やや不十分だった(70%以上)

B:概ね達成した(80%以上) D:不十分だった(70%未満)

5 保育園整備 計画事業	事業 概要	待機児童対策のため、社会福祉法人等が国の交付金等を受け実施する施設整備事業等に対して、その経費の一部を補助した。
	事業費	■3年間合計で 約 37 億 8,590 万円 待機児童の状況を勘案し、保育園等の整備数を増やしたため、当初計画した事業費の約 230%の支出が見込まれ、計画を大きく上回る事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ A ランク 保育園の定員数(増分)が3年間の合計で約 2,900 人と見込まれ、当初の計画 1,076 人に対し十分達成した。

▶▶▶基礎的事業

ひとり親家庭 医療費 助成事業	事業 概要	ひとり親家庭の父母等に対し当該家庭の福祉の増進を図るため、18 歳までの児童及び保護者の医療費等(入院・通院・調剤等)の一部を助成した。(ただし、所得制限あり)
こども発達 相談室事業	事業 概要	発達の支援が必要な子どもの相談を受け付け、一人ひとりに応じた個別支援計画に基づき、個別・グループ支援や家族支援を行った。(心理士、言語聴覚士による個別支援は、原則として乳幼児期から学校就学前まで。また作業療法士、理学療法士によるリハビリは、乳幼児期から18歳まで)
私立幼稚園 預かり保育 事業	事業 概要	幼児教育の振興及び待機児童対策を図るため、保護者が就労している場合でも児童を幼稚園へ通わせることができるよう、就労のための預かり保育事業を実施する私立幼稚園に対して補助を行った。
ファミリー・ サポート・ センター事業	事業 概要	育児支援を行いたい会員、育児支援を受けたい会員及びその両方を希望する会員からなる地域型相互援助機能の会員組織として、生後2ヶ月以上小学6年生までを対象に保育などのサポートを実施した。また、ファミリー・サポート・センターでは、アドバイザー等が活動の中心となり、相互援助活動の調整、子育てに関する相談を行い、仕事と育児の両立をはじめとする地域での子育て支援機能の充実を図った。
子ども医療費 助成事業	事業 概要	0 歳児から中学校 3 年生までの子どもの入院、通院及び調剤に要した医療費の全部又は一部を助成した。(入院1日につき 300 円、通院1回につき 300 円の自己負担あり(市民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯は自己負担なし))

施策 03 地域福祉

地域福祉では、施策の目標である、支え合い社会への意識変革、地域への参加と交流の体制づくり、地域の安心と信頼の向上を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

6 地域 ケアシステム 推進事業	事業 概要	市内 14 の「地区社会福祉協議会」を推進母体とし、地域住民が主体となった取り組みを展開する支え合いの地域づくり「地域ケアシステム」に対し、活動拠点の整備や活動の支援を行った。
	事業費	■3 年間合計で 約 5,420 万円 当初計画した事業費の約 90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ A ランク 地域ケアシステム会議等開催件数が 3 年間の合計で約 17,450 件と見込まれ、当初の計画 15,900 件に対し十分達成した。

基礎的事業

民生委員 活動事業	事業 概要	住民の生活状態の把握、生活に関する相談・助言、福祉サービス利用のための情報提供、社会福祉事業者や関係行政機関との連携・支援、その他住民の福祉の増進を図るための活動を行う、民生委員児童委員の活動を支援した。
避難行動要支援者対策事業	事業 概要	「避難行動要支援者」の把握に努めるとともに、避難の支援等を実施するための基礎とする名簿を作成した。また、「自助、共助」の意識向上や取り組みが図られるよう、必要な支援を推進した。

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)

A: 十分達成した(90%以上) C: やや不十分だった(70%以上)

B: 概ね達成した(80%以上) D: 不十分だった(70%未満)

施策 04 障がい者福祉

障がい者福祉では、施策の目標である、社会参加の促進、生活支援の充実、医療・リハビリテーションの支援、地域の理解・支援の促進を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

7 地域生活 支援事業 (相談支援事業)	事業 概要	障がい者の増加・高齢化等に伴う相談の多様化に対応するため、障がい者に関する総合的な相談窓口を設置した。 また、成年後見制度が有効と思われる障がい者にその利用を支援した。
	事業費	■3年間合計で 約1億7,140万円 当初計画した事業費の約100%の支出が見込まれ、計画どおりの事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ Bランク 基幹相談支援センターにおける相談件数が3年間の合計で約41,620件と見込まれ、当初の計画51,000件に対し概ね達成した。

基礎的事業

自立・就労の ための 訓練支援事業	事業 概要	障がい者等の自立や就労のため、就労移行支援、自立訓練等の給付や視覚障がい者自立支援事業(歩行訓練、パソコン訓練)を行った。
障がい者手当 支給事業	事業 概要	心身障がい者に対して、特別障害者手当、重度心身障がい者福祉手当、ねたきり身体障がい者及び知的障がい者介護手当等を支給することにより生活の安定を図った。
日常生活の支 援、補装具・ 日常生活用具 の支援事業	事業 概要	障がい者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、ホームヘルプ、ショートステイ、訪問入浴、移動支援、日中一時支援、一時介護料助成、ボランティア派遣を行うとともに、補装具の支給・修理・借受、日常生活用具の給付(日常生活用具一覧表)、緊急通報システムを提供した。
医療費 助成事業	事業 概要	障がい者等に係る医療費負担の軽減のため、重度心身障害者(児)医療費の助成、自立支援医療(更生医療・精神通院・育成医療)、後期高齢者医療、精神障がい者入院医療費の助成、はりきゅうマッサージ利用助成を行った。

地域活動支援 センター事業、啓発事業	事業 概要	障がい者等に対する地域の理解・支援を促進するため、地域社会の中で作業訓練及び生活支援を通じて自立を図る地域活動支援センターへの運営補助や、内閣府の定める障害者週間(12/3～9)に啓発事業を実施した。
-----------------------	----------	--

施策 05 高齢者福祉

高齢者福祉では、施策の目標である、介護予防と生きがいづくりの充実、介護サービス及び生活支援サービスの充実を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

▶▶▶重点事業

8 一般介護 予防事業	事業 概要	高齢者が要介護状態となることを予防するため、心身機能の維持・推進を図る「いきいき健康教室」を実施するとともに、「市川みんなで体操」の運営を支援した。
	事業費	■3年間合計で 約 7,780 万円 当初計画した事業費の約 100%の支出が見込まれ、計画どおりの事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ A ランク いきいき健康教室・市川みんなで体操の参加者数が 3 年間の合計で約 186,660人と見込まれ、当初の計画 203,700 人に対し十分達成した。
9 認知症 対策事業	事業 概要	認知症の人やその家族が安心して暮らし続けることができる地域づくりを推進するため、認知症の方やその家族等に対し、各種支援の実施、関係機関との連携強化及び地域で支えるつながりづくりを支援した。
	事業費	■3年間合計で 約 990 万円 認知症カフェ登録事業補助金の申請額が当初の見込みを下回ったため、当初計画した事業費の約 70%の支出が見込まれ、計画を下回った。
	取組 状況	■目標達成率※ A ランク 認知症の方やその家族等に対する支援件数が 3 年間の合計で約 1,810 件と見込まれ、当初の計画 1,500 件に対し十分達成した。

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)

A:十分達成した(90%以上) C:やや不十分だった(70%以上)

B:概ね達成した(80%以上) D:不十分だった(70%未満)

▶▶▶基礎的事業

シルバー人材センター事業	事業概要	高齢者の社会参加と生きがいづくりを支援するため、健康で働く意欲のある高齢者が、知識・経験・技能を活かして働くことができる場を提供している「シルバー人材センター」に対して支援を行った。
地域包括支援センター運営事業	事業概要	高齢者サポートセンター15箇所において、高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー等の専門職を配置し、高齢者の地域における生活を支援した。
介護保険事業	事業概要	介護や支援を必要とする高齢者等が、自立した日常生活を営むことができるよう、その心身の状況や置かれている環境等に応じて、必要な介護サービス等を提供した。

施策 06 社会保障・住まい

社会保障・住まいでは、施策の目標である、安心して暮らせる社会保障の充実、住まいの安心・安全への支援を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

▶▶▶重点事業

10 生活困窮者 自立支援事業	事業概要	生活保護に至る前の段階における自立支援を図るため、相談業務、住居確保給付金の支給、各種支援等を行った。
	事業費	■3年間合計で 約1億3,260万円 当初計画した事業費の約90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ Aランク 相談件数が3年間の合計で約22,810件と見込まれ、当初の計画19,500件に対し十分達成した。

▶▶▶基礎的事業

生活保護事業	事業概要	生活困窮者に対し、その困窮の状況に応じ、生活扶助、住宅扶助など8種類の扶助費と救護施設等入所者にかかる施設事務費を支給し、必要な保護を行うことにより、その最低限の生活を保障するとともに、自立を助長した。
市営住宅 営繕事業	事業概要	市営住宅を良好な状態で維持するために、市川市公営住宅等長寿命化計画に基づき既存施設の大規模修繕等を行い維持保全を行った。

施策 07 スポーツ

スポーツでは、施策の目標である、スポーツ環境の充実を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

11 北市川運動 公園整備・ 運営事業	事業 概要	「市川市北東部スポーツタウン基本構想」に基づき、北東部地区にスポーツ施設の整備を行うとともに、総合型地域スポーツクラブを設立することに伴う初期経費等の補助を行った。
	事業費	■3年間合計で 約6億3,880万円 平成28年度に予定していた工事の工期を延長し、それに係る事業費を翌年度に繰り越したことから、当初計画した事業費の約4,290%の支出が見込まれる。
	取組 状況	■目標達成率※ Aランク 北市川スポーツクラブ会員登録者数が3年間で約220人と見込まれ、当初の計画250人に対し十分達成した。

基礎的事業

「夢の教室」 運営事業	事業 概要	市内市立小・中・義務教育・特別支援学校において、「夢を持つことや夢に向かって努力することの大切さ」を伝えると同時に「思いやりを持って仲間と協力すること」を理解してもらうことで、自立心と社会性に富んだ子ども達を育成していくため、(公財)日本サッカー協会が行う『JFA こころのプロジェクト「夢の教室」』を実施した。
スポーツ指導者 育成事業	事業 概要	指導者の養成・確保、総合型地域スポーツクラブ指導者の育成及びスポーツ推進委員の資質と指導力の向上を図り、スポーツ振興と競技力向上及び生涯スポーツ社会の実現を目標として、市川市公認スポーツ指導者育成講習会を開催した。

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)

A: 十分達成した(90%以上) C: やや不十分だった(70%以上)

B: 概ね達成した(80%以上) D: 不十分だった(70%未満)

施策 08 子どもの教育

子どもの教育では、施策の目標である、子どもの育成(子どもの姿)、家庭・学校・地域の連携(家庭・学校・地域の姿)、教育環境の整備・充実(市川の教育の姿)を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

12 校内塾・ まなびくらぶ 事業	事業概要	小中学生の学力向上を図るため、退職教員や大学生、地域人材などの「まなびサポーター」の支援による、算数・数学を中心とした基礎的・基本的な内容の学習機会を放課後及び長期休業中等に設けた。
	事業費	■3年間合計で 約 3,910 万円 当初計画した事業費の約 90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク 校内塾・まなびくらぶの実施日数が3年間の合計で約 6,640 件と見込まれ、当初の計画 7,050 件に対し十分達成した。
13 コミュニティ・ スクール 推進事業	事業概要	地域住民が学校運営に一定の権限と責任を持って参画する環境を整えるため、保護者の代表、地域の代表、学識経験者等で構成する学校運営協議会を設置した。
	事業費	■3年間合計で 約 630 万円 当初計画した事業費の約 90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク 学校運営協議会の設置数が3年間の合計で61校園と見込まれ、当初の計画61校園に対し十分達成した。
14 教育相談事業	事業概要	幼児・児童・生徒とその保護者に対し、専門的知識を持つ教育相談員等が、子育てをしていく中で生じるさまざまな悩みに関する相談を行った。また、児童生徒の悩みに対して適切な対応をするためライフカウンセラーを配置した。
	事業費	■3年間合計で 約 2 億 6,160 万円 当初計画した事業費の約 100%の支出が見込まれ、計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク 各種相談件数が3年間の合計で約 42,000 件と見込まれ、当初の計画 38,100 件に対し十分達成した。

15 義務教育学校 整備事業	事業 概要	平成28年4月に義務教育学校となった塩浜学園の教育効果を高めるため、塩浜学園校舎一体化の整備事業を進めた。
	事業費	■3年間合計で 約21億4,500万円 当初計画した事業費の約90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ Aランク 各年度に計画した整備事業に対する進捗が3年間の平均で約100%と見込まれ、当初の計画100%に対し十分達成した。
16 放課後 保育クラブ 運営事業	事業 概要	保護者が就労などにより昼間家庭にいない子どもに対し、適切な遊び及び生活の場を提供する放課後保育クラブの運営を行った。
	事業費	■3年間合計で 約42億1,840万円 当初計画した事業費の約110%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ Aランク 各年度4月1日現在の定員数が3年間の平均で約5,200人と見込まれ、当初の計画4,740人に対し十分達成した。

◇◇◇基礎的事業

英語教育・ 国際理解教育 推進事業	事業 概要	外国人招致による外国語指導助手(ALT)の派遣や中学生の海外派遣事業などを推進し、英語教育・国際理解教育の充実をはかった。(中学校15校及び義務教育学校後期1校) また、外国語活動指導員及びALTを派遣し、小学校における外国語活動及び国際理解教育を推進した。(小学校38校及び義務教育学校前期1校)
社会科副読本 等製作事業	事業 概要	教員による郷土に関わる研究会議を開催し、社会科副読本の製作及び学習指導のあり方の研究を行った。
家庭教育学級 運営事業	事業 概要	子どもの健やかな成長のため、市内の公立幼稚園、小・中学校、義務教育学校、特別支援学校の保護者を対象とした家庭教育学級を運営して、子育てについての諸問題を保護者が1年間計画的に学ぶことで、家庭の役割の重要性について学習する機会を提供した。また、家庭教育指導員が講師を務める指導員派遣講座を全学級で展開した。
少人数学習等 担当補助教員 事業	事業 概要	児童生徒に「確かな学力」を身につけさせるため、小・中・義務教育学校に少人数学習等担当補助教員を派遣し、児童生徒のニーズに応じた少人数指導やチームティーチングを行うことで、分りやすい授業やきめ細かな指導を行った。

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)
A: 十分達成した(90%以上) C: やや不十分だった(70%以上)
B: 概ね達成した(80%以上) D: 不十分だった(70%未満)

学校施設 トイレ改修 事業	事業 概要	学校のトイレは老朽化により5K(臭い・汚い・暗い・壊れている・怖い)と言われ、児童・生徒が学校で排便をしない傾向になっていることから、常に児童・生徒が快適かつ清潔にトイレが利用できるよう、老朽化したトイレを計画的に改修した。
---------------------	----------	--

施策 09 生涯学習

生涯学習では、施策の目標である、生涯を通して学び続けられる学習環境の実現を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

17 公民館 主催講座 活動事業	事業 概要	公民館を活用した地域の学習拠点づくりのため、健康・子育て・環境問題・国際化等の現代的課題や生活課題を意識した主催講座を実施した。
	事業費	■3年間合計で 約 2,320 万円 当初計画した事業費の約90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ A ランク 各種公民館主催事業への参加者数が 3 年間の合計で約 38,830 人と見込まれ、当初の計画 42,000 人に対し十分達成した。

基礎的事業

図書館 運営事業	事業 概要	図書館サービスとして、中央図書館、行徳図書館、信篤図書館、南行徳図書館、平田図書室、市川駅南口図書館(指定管理者で運営)の6館の図書館のほか、小学校に併設された市民図書室、公民館に併設された公民館図書室を運営した。また、公共施設等における本の取り寄せ・貸出・返却等の市民サービスを行った。
いちかわ市民 アカデミー 講座事業	事業 概要	市内にある昭和学院短期大学・和洋女子大学・千葉商科大学の協力を得て、各大学の持つ専門的かつ高度な機能や施設と恵まれた環境の中で、知的好奇心の充足や生活向上の糧となる新しい知識の習得を目的とした連続講座を開催した。

施策 10 雇用・労働

雇用・労働では、施策の目標である、就労の支援、労働環境の向上を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

18 若年者等 就労支援事業	事業概要	就労が困難な若者を積極的に支援するため、ニート・ひきこもり等の若者もしくはその親等が、就労について相談する場を提供した。また、職業的自立のための協力企業を開拓し職場体験を実施するとともに、カウンセリング等を行った。
	事業費	■3年間合計で 約 970 万円 当初計画した事業費の約 100%の支出が見込まれ、計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ Aランク 就労相談、就職面接会及び職場体験による就労者数が3年間の合計で約230人と見込まれ、当初の計画150人に対し十分達成した。

基礎的事業

雇用促進事業	事業概要	障がい者、母子家庭の母等、父子家庭の父(児童扶養手当受給者に限る)の雇用機会の拡大を図るため、公共職業安定所の紹介等で常用雇用した事業主に対し、雇用促進奨励金を交付した。また、国のトライアル雇用終了後、若者や女性等を常用雇用した事業主に対し、トライアル雇用奨励金を交付した。この他、障がい者の職場実習を受け入れた事業主に奨励金を交付するとともに千葉県と共催でシニア向け、中高年齢者向け、女性向けの再就職支援セミナーをそれぞれ実施した。
--------	------	---

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)

A:十分達成した(90%以上) C:やや不十分だった(70%以上)

B:概ね達成した(80%以上) D:不十分だった(70%未満)

施策 11 消費生活

消費生活では、施策の目標である、自立して、考え、行動する消費者の育成、消費者被害の救済を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

▷▷▷基礎的事業

消費生活 センター相談 及び啓発事業	事業 概要	消費生活相談員による相談・苦情処理等を行う中で、国・県・他市などとの連携を図り、市民の消費生活における安全、安心に努め、消費者の自立を支援するとともに、多重債務者の救済を図るため、弁護士による多重債務専門相談を実施した。 また、市の広報紙やホームページなどへの悪質事例等の掲載をはじめ、「出前消費者講座」を開催し、消費者被害の未然防止に努めるとともに、専門講師を招き、日常生活に関わりの深い消費者問題を取り上げ、市民へ最新の知識や情報の提供を行う「消費生活講座」を実施した。
--------------------------	----------	--

施策 12 人権・男女共同参画

人権・男女共同参画では、施策の目標である、人権尊重社会の実現、男女共同参画社会の実現を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

▷▷▷重点事業

19 DV対策事業	事業 概要	DV(ドメスティック・バイオレンス)被害者に対するきめ細やかな支援を行うなどDV根絶に向け、「市川市男女共同参画基本計画第3次DV防止実施計画」に沿って、DVをはじめ女性からのあらゆる相談に対応する事業などを行った。また、児童虐待との連携強化を図るとともに、DV相談支援体制の整備を進めた。
	事業費	■3年間合計で 約 3,820 万円 当初計画した事業費の約 100%の支出が見込まれ、計画どおりの事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ C ランク DV 相談件数が3年間の合計で約 2,590 件と見込まれ、当初の計画 3,600 件に対しやや不十分だった。 これは、配偶者暴力相談支援センターへの相談件数は全国的に減少傾向である一方、警察における配偶者からの相談等件数が増加していることなどによるもの。

▷▷▷基礎的事業

人権啓発事業	事業概要	人権擁護委員と連携しながら、幅広い年齢層に対し、身近な人権啓発活動を展開することにより、自由人権思想の普及高揚を図った。
男女共同参画センター講座事業	事業概要	男女共同参画社会の実現を目指し、市民等に対して男女共同参画に関する知識や理解を深めるため、各種講座や講演会等を実施した。

施策 13 平和

平和では、施策の目標である、平和意識の高揚、国際平和のための活動の促進と支援を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

▷▷▷基礎的事業

平和啓発事業	事業概要	昭和 59 年に行った「核兵器廃絶平和都市宣言」に基づき、「平和の折り鶴」の送呈や平和ポスター募集などの各種平和事業を実施し、市民の平和意識の高揚を図った。
--------	------	--

（基本目標2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち）

施策 14 芸術・文化

芸術・文化では、施策の目標である、豊かな心を育む文化活動の支援を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

20 「市川の文化 人展」等事業	事業 概要	芸術・文化事業の振興を図るため、市にゆかりのある文化人や芸術家を顕彰し、広く紹介する「市川の文化人展」等を開催した。
	事業費	■3年間合計で 約 1,670 万円 当初計画した事業費の約 90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ A ランク 展示会等の来場者数が 3 年間の合計で約 17,410 人と見込まれ、当初の計画 12,000 人に対し十分達成した。

基礎的事業

市民会館 管理運営事業	事業 概要	市民の芸術文化の振興及び福祉の増進を図るため、八幡市民会館の管理運営を行なうとともに、1階展示室においては、名誉市民や収蔵美術作品などの展示を行い、市民が芸術文化に身近に触れる機会を創出した。
----------------	----------	--

施策 15 文化的資産

文化的資産では、施策の目標である、地域を彩る文化的資産の保全・活用を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

21 行徳地区の 歴史と文化を いかした まちづくり 事業	事業 概要	行徳地区の歴史的なまち並みや行徳神輿などの伝統的・文化的な資産を活かした一体的なまちづくりを進めていくため、国の有形文化財に登録されている旧浅子神輿店の改修及び飲食の提供や特産品の販売などのさまざまな活用が可能な施設を建設し、歴史や文化を感じることができる新たな観光スポットの整備・運営を行った。
	事業費	■3年間合計で 約1億6,990万円
	取組 状況	■目標達成率※ Cランク 旧浅子神輿店の来場者数が計画値を定めた2年間の平均で約9,990人と見込まれ、当初の計画に対しやや不十分だった。これは、計画値では主屋と休憩所を合わせた来場者数としていたが、気軽に立ち寄れる休憩所の来場者数を把握することが困難であり、実績は主屋のみの来場者数としていることによるもの。

基礎的事業

市史編さん 事業	事業 概要	刊行後35年以上が経過した市史を改訂編さんし、市民共有の財産として将来に継承した。
-------------	----------	---

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)

A:十分達成した(90%以上) C:やや不十分だった(70%以上)

B:概ね達成した(80%以上) D:不十分だった(70%未満)

施策 16 文化の創造

文化の創造では、施策の目標である、新たな「まちの文化」の構築、新たな文化的資源の創出と情報発信、多文化共生のまちづくりを図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

22 いちかわ ふらり まち歩き事業	事業概要	市外からの訪問者をはじめ、市民に対しても、地域の魅力の再発見と地元に対する愛着心を醸成するため、観光スポットめぐりの提案とイベント等を行った。
	事業費	■3年間合計で 約 230 万円 一日乗車券の印刷枚数が見込みよりも少なかったこと、また PR のための広告について、事業者による無償提供となったことから、当初計画した事業費の約 40%の支出が見込まれ、計画を下回った。
	取組状況	■目標達成率※ D ランク 一日乗車券の販売件数の実績が3年間の合計で約 5,080 件と見込まれ、当初の計画 12,000 件に対し不十分だった。 これは、コミュニティバスを使った事業展開に対する需要が見込みを下回ったことによるもの。

基礎的事業

観光イベント 振興事業	事業概要	市川市民納涼花火大会実行委員会が主催する「市川市民納涼花火大会」の負担金を拠出し、市川市民納涼花火大会を開催することにより、ふるさと意識の高揚を図った。 また、いちかわ市民まつり実行委員会が主催する「いちかわ市民まつり」の負担金を拠出し、市民まつりを開催することにより、市民の交流とふれあいの場を提供した。
アイ・リンクタウン展望施設 運営事業	事業概要	市川市の玄関のシンボルとして、地上 150m から市川市内、東京方面、東京湾などの眺望を新たな観光資源として市内外に広く PR し、多くの観光客を誘致し、地域の活性化を図った。 また、観光資源や物産品等を紹介するとともに、喫茶スペースを設けて来場者の憩いと交流の場を提供した。
多文化共生 推進事業	事業概要	市立小学校6年生の児童を対象に異国の食文化を通して、その国や地域について学習する場を提供した。

(基本目標3 安全で快適な魅力あるまち)

施策 17 危機管理・消防

危機管理・消防では、施策の目標である、危機管理体制の強化、消防力の強化を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

23 防災用品 備蓄事業	事業概要	安全で安心なまちを実現するため、大災害の発生に備え、避難者支給用の食料品や生活必需品等の災害用備蓄品及び防災資器材等を計画的に購入した。
	事業費	■3年間合計で 約 5,090 万円 当初計画した事業費の約 150%の支出が見込まれ、計画を大きく上回る事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク 想定避難者一人当たりの食料品の備蓄量が3年間の平均で3.3食と見込まれ、当初の計画3食に対し十分達成した。
24 地域防災力 強化事業	事業概要	災害発生時における地域住民の自助・共助の意識の向上を図るため、自主防災組織へ防災用品等の購入費用の一部を補助した。また、自治会等で実施する訓練への支援や市川市総合防災訓練を実施し、市民、事業者の防災意識の向上を図り、地域防災力の強化を進めた。
	事業費	■3年間合計で 約 2,520 万円 当初計画した事業費の約 120%の支出が見込まれ、計画を上回る事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク 自主防災組織資器材購入費等補助金の支給件数が3年間の合計で約 150 件と見込まれ、当初の計画 120 件に対し十分達成した。

基礎的事業

消防活動車両 整備事業	事業概要	老朽化又は他の法令により、使用できなくなる消防車両を調査、検討したうえで更新計画を立て、計画的に消防車両等の導入を図った。
----------------	------	---

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)

A: 十分達成した(90%以上) C: やや不十分だった(70%以上)

B: 概ね達成した(80%以上) D: 不十分だった(70%未満)

施策 18 治水

治水では、施策の目標である、水害のないまち、水害に対する意識の啓発を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

25 公共下水道 整備雨水事業	事業概要	市街地の浸水被害軽減を図るため、市川南排水区及び高谷・田尻排水区における雨水管渠及びポンプ場の整備等を行った。
	事業費	■3年間合計で 約 56 億 910 万円 当初計画した事業費の約 110%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク 雨水管渠整備延長が 3 年間の合計で約 4,410m と見込まれ、当初の計画 3,969m に対し十分達成した。
26 蓋架柵渠 (ふたかけさっきょ) 改修事業	事業概要	歩行者の安全な通行及び排水機能の確保を図るため、老朽化の進む上部を歩道として利用している蓋架柵渠の改修を行った。
	事業費	■3年間合計で 約 6 億 7,960 万円 当初計画した事業費の約 90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ C ランク 改修工事完了延長が 3 年間の合計で約 2,150m と見込まれ、当初の計画 2,798m に対しやや不十分だった。 これは、地元との調整に時間を要し、計画を翌年度に繰り越すこととなったことなどによるもの。

基礎的事業

排水路 整備事業	事業概要	浸水常襲地域の被害の軽減を図るため、「市川市雨水排水基本計画」に位置づけられた排水路を整備した。
-------------	------	--

施策 19 防犯

防犯では、施策の目標である、防犯まちづくりの推進を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

27 防犯対策事業	事業概要	住民による自主的な防犯活動の推進を図るため、自治会等の自主防犯活動を実施する団体への支援、ボランティアパトロールの普及推進、地域団体による防犯カメラの設置費用の一部の補助等を行った。
	事業費	■3年間合計で 約 1,910 万円 当初計画した事業費の約 100%の支出が見込まれ、計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク ボランティアパトロール登録者数が3年間の合計で約9,410人と見込まれ、当初の計画 10,200 人に対し十分達成した。

基礎的事業

青色防犯 パトロール 推進事業	事業概要	防犯まちづくりを推進するため、市内全域で青色防犯パトロールを実施するとともに、民間の活動団体への支援を行った。
-----------------------	------	---

施策 20 交通安全

交通安全では、施策の目標である、道路の安全性の向上、適切な自動車交通の誘導、交通安全に関する意識啓発を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

28 橋りょう 長寿命化 計画事業	事業概要	市が管理を行う橋りょうの計画的な維持修繕による延命化を図るため、橋りょう長寿命化修繕計画を策定し、点検・修繕工事を計画的に行った。
	事業費	■3年間合計で 約 2 億 710 万円 計画の見直しに伴い、工事箇所数を変更したため、当初計画した事業費の約 70%の支出が見込まれ、計画を下回った。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク 修繕工事完了箇所数が 3 年間の合計で 11 箇所と見込まれ、当初の計画 9 箇所に対し十分達成した。

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)

A: 十分達成した(90%以上) C: やや不十分だった(70%以上)

B: 概ね達成した(80%以上) D: 不十分だった(70%未満)

29 まごころ道路 整備事業	事業 概要	すれ違いが困難な狭あいな道路において、地域住民の安全な道路環境を整備するため「まごころゾーン」と称する待機スペースを部分的に整備した。
	事業費	■3年間合計で 約 3,910 万円 計画期間内に整備用地の取得及び引き渡しが見込めないことから、当初計画した事業費の約 30%の支出が見込まれ、計画を下回った。
	取組 状況	■目標達成率※ D ランク 整備箇所数が3年間の合計で3箇所と見込まれ、当初の計画9箇所に対し不十分だった。 これは、計画期間内に整備用地の取得が見込めないことによるもの。

▷▷▷基礎的事業

道路 パトロール 補修事業	事業 概要	市川市が管理する道路をパトロールするとともに、舗装の剥がれ等に応急処置を行い、道路の補修等に関する市民通報に迅速に対応した。
自転車安全 利用啓発事業	事業 概要	「市川市自転車の安全利用に関する条例」に基づき、自転車利用者による危険な運転の防止と自転車の安全利用に関する普及啓発として、市内全ての公立小学校で自転車安全教室、民間企業や自治会等を対象とした講習会の実施、駅前など街頭での啓発活動を警察や交通安全団体と協働して行った。
狭あい道路 対策事業	事業 概要	市で管理する市道等において、道路拡幅部分の土地を市に寄付するものに対し、分筆測量を市で行う若しくは費用の一部を助成し、拡幅部分の整備を行い、狭あい道路における通行や安全性の向上、防災上の問題の解消を図った。

施策 21 ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインでは、施策の目標である、まちのユニバーサルデザイン化、公益施設のユニバーサルデザイン化を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

30 交通 バリアフリー 推進事業	事業概要	鉄道駅における高齢者・障がい者等の移動等の円滑化を図るため、鉄道事業者に対し多機能トイレやスロープ設置等の整備費用の一部を補助した。
	事業費	■3年間合計で 約1億8,760万円 当初計画した事業費の約90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ Bランク 補助金の支給件数が3年間の合計で4件と見込まれ、当初の計画5件に対し概ね達成した。
31 人にやさしい 道づくり 重点地区 整備事業	事業概要	「市川市交通バリアフリー基本構想」に基づき、主要駅周辺の半径500m以内を重点整備地区とし、歩道の段差解消、平坦性の確保等のバリアフリー化を進めた。
	事業費	■3年間合計で 約4億7,160万円 当初計画した事業費の約220%の支出が見込まれ、計画を大きく上回る事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ Aランク 工事完了箇所数が3年間の合計で15箇所と見込まれ、当初の計画7箇所に対し十分達成した。

基礎的事業

千葉県福祉の まちづくり 条例に基づく 届出審査	事業概要	不特定多数のものが利用する一定規模以上の公益施設について、千葉県福祉のまちづくり条例に基づく、届出審査及び適合する施設には適合証の交付を行った。
-----------------------------------	------	--

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)

A: 十分達成した(90%以上) C: やや不十分だった(70%以上)

B: 概ね達成した(80%以上) D: 不十分だった(70%未満)

施策 22 道路・交通

道路・交通では、施策の目標である、環境負荷を低減し都市機能を向上させる道路交通、鉄道断面、渡河部における交通混雑の解消、快適な歩行者自転車空間づくり、公共交通の充実、道路の管理を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

32 都市計画道路 3・4・12号 整備事業	事業概要	外環道路に接続する都市計画道路 3・4・12 号北国分線の未整備区間と交差点改良区間を含めた約 400mの整備を進めた。
	事業費	■3 年間合計で 約 13 億 5,510 万円 当初計画した事業費の約 110%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク 各年度に計画した道路用地取得面積に対する進捗率が3年間の平均で約140%と見込まれ、当初の計画100%に対し十分達成した。
33 都市計画道路 3・6・32号 整備事業	事業概要	外環道路に接続する都市計画道路 3・6・32 号市川鬼高線の外環道路接続部から東側の延長 650m区間を整備すると共に、市川浦安線との交差点に右折レーンを設ける等の改良を進めた。
	事業費	■3 年間合計で 約 21 億 9,090 万円 当初計画した事業費の約 110%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク 各年度に計画した道路用地取得面積に対する進捗率が3年間の平均で約 90%と見込まれ、当初の計画 100%に対し十分達成した。

基礎的事業

放置自転車 対策事業	事業概要	駅周辺の良い環境を確保するため、街頭指導及び放置自転車の撤去・移送を行った。
コミュニティ バス運行事業	事業概要	市内北東部及び南部において交通不便地の解消と地域の足の確保を目的としてコミュニティバスを運行した。

施策 23 下水道

下水道では、施策の目標である、水環境の良好な保全と整備を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

34 公共下水道 整備汚水事業	事業概要	「市川市公共下水道事業計画」に基づき、効率的かつ計画的に整備を進め、下水道の普及率の向上を図った。
	事業費	■3年間合計で 約106億3,170万円 当初計画した事業費の約 100%の支出が見込まれ、計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク 整備面積が 3 年間の合計で約120ha と見込まれ、当初の計画 105ha に対し十分達成した。

基礎的事業

下水道総合 地震対策事業	事業概要	「市川市下水道総合地震対策計画」に基づき、重要な既存下水道管路施設の耐震化を図り、震災時においても流下機能を確保した。
下水道施設 長寿命化 対策事業	事業概要	事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図るため、下水道施設の長寿命化計画に基づき、下水道施設の計画的な改築を行った。

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)

A:十分達成した(90%以上) C:やや不十分だった(70%以上)

B:概ね達成した(80%以上) D:不十分だった(70%未満)

施策 24 住宅・住環境

住宅・住環境では、施策の目標である、健康で安全・安心して暮らせる住まいとまちづくりの実現、良好な住まいと地域に根ざしたまちづくりの実現を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

35 耐震診断・ 改修助成事業	事業概要	現行の耐震基準を満たさない市内既存民間建築物の耐震診断、耐震改修を計画的に啓発、指導を行なうとともに耐震診断、耐震改修に要する費用の一部を助成した。
	事業費	■3年間合計で 約 3,630 万円 当初計画した事業費の約 110%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ Bランク 各種補助金の支給件数が3年間の合計で78件と見込まれ、当初の計画94件に対し概ね達成した。
36 空き家 対策事業	事業概要	周辺の住環境に悪影響を及ぼす管理不全な空家等の所有者等に対し、助言や指導等の措置及び支援等を講ずるとともに、公共用地として活用できる場合には除却費用を補助することで、除却の推進を図った。
	事業費	■3年間合計で 約 1,160 万円 相続財産管理人の申し立てを行った一部案件について予納金が見込まれ、計画を下回った。
	取組状況	■目標達成率※ Aランク 空家特別措置法にもとづく是正件数が3年間の合計で約380件と見込まれ、当初の計画240件に対し十分達成した。

基礎的事業

マンション 管理支援事業	事業概要	管理組合へマンション管理士を派遣することで、知識・情報の提供や啓発により、適切なマンション管理へ誘導し、良好な住宅ストックとして維持を図った。
危険 コンクリート ブロック塀等 除去事業	事業概要	地震による危険コンクリートブロック塀等の倒壊の被害から市民の生命及び身体を保護するため、危険コンクリートブロック塀等の除却を行うものに対して除却に要する費用の一部を助成した。

あんしん住宅 推進事業	事業 概要	住宅ストックの良質化に資するため、自身が所有・居住する住宅（戸建て及び分譲マンション専有部）において、バリアフリー、防災性向上、省エネ、子育て配慮のいずれかの分野で行う改修工事費用の一部を助成した。また、分譲マンションの共用部において、バリアフリー又は浸水対策のいずれかの分野で行う改修工事費用の一部についても助成した。
----------------	----------	--

施策 25 公共施設

公共施設では、施策の目標である、公共施設等の有効的、効率的な活用を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

37 庁舎整備事業	事業 概要	利用者の安全と防災拠点機能の確保、さらには質の高い市民サービスを提供するため、本庁舎の建替えに向け、新第2庁舎の建設に続いて新第1庁舎の建設を行っている。
	事業費	■3年間合計で 約 162 億 6,840 万円 当初計画した事業費の約 90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ A ランク 各年度に計画した新第1庁舎整備工事の出来高に対する進捗が3年間の平均で約 100%と見込まれ、当初の計画 100%に対し十分達成した。

基礎的事業

公共施設 マネジメント 事業	事業 概要	公共施設等総合管理計画及び用途ごとの個別計画に基づき、公共施設の総合的かつ計画的な管理の推進を図った。
----------------------	----------	---

※取組状況の目標達成率（＝実績の数値／計画の数値目標）

A：十分達成した（90%以上） C：やや不十分だった（70%以上）

B：概ね達成した（80%以上） D：不十分だった（70%未満）

施策 26 土地利用

土地利用では、施策の目標である、都心に近い住宅都市として魅力ある市街地の形成、都市経営の観点から効率的で適切な土地利用の誘導、地域ごとの特性を生かした持続可能な地域づくりを図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

38 JR武蔵野線 沿線 まちづくり事業	事業概要	JR武蔵野線沿線に位置する北東部地域において、地域が有する資源を生かしつつ土地利用における課題解決や交通環境の向上等を図るため、武蔵野線沿線の新駅設置を核とした魅力あるまちづくりを誘導した。
	事業費	■3年間合計で 約 710 万円 鉄道事業者より示された技術的・運行計画上の課題解消には多くの期間を要することから、新駅整備に係る概略設計は時期尚早と判断したため、当初計画した事業費の 2%の支出が見込まれ、計画を下回った。
	取組状況	■目標達成率※ D ランク 各年度に計画した事業に対する進捗率が 3 年間の平均で約 30%と見込まれ、当初の計画100%に対し不十分だった。これは、上述の理由により新駅整備に係る概略設計は時期尚早と判断し、計画通りに実施しなかったことによるもの。
39 塩浜地区 整備事業	事業概要	「塩浜地区まちづくり基本計画」に基づき、三番瀬の海辺などの自然環境や利便性の高い交通機能などの地域特性を活かした、市民が海辺に親しめる行徳臨海部のまちづくりを進めた。
	事業費	■3年間合計で 約 1 億 9,620 万円 当初計画した事業費の約 90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク 各年度に計画した整備事業に対する進捗が事業実施期間である 2 年間の平均で 100%となり、当初の計画100%に対し十分達成した。

基礎的事業

都市計画制度 の運用	事業概要	都市計画マスタープランに描く将来都市像の実現を図るため、都市計画制度を運用し、土地利用規制(区域区分、地域地区等)、都市施設(道路、公園、下水道等)、市街地開発事業(市街地再開発事業、土地地区画整理事業等)などを定めた。
---------------	------	--

施策 27 景観

景観では、施策の目標である、「水と緑」・「歴史と文化」を生かした景観の形成、まちの個性に彩られた表情豊かな景観の形成を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

40 都市景観 形成事業	事業 概要	美しい景観づくりに向け、景観計画に基づくまち並み景観の向上への取り組み、ガーデニングによる市民交流を通じた景観意識の高揚とまち並み景観の向上、また、良好な景観形成を図るため、市民や地域が主体となる景観まちづくりを推進した。
	事業費	■3年間合計で 約 8,880 万円 当初計画した事業費の約 90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ A ランク 各種イベント等の参加者数が3年間の合計で約 36,300 人と見込まれ、当初の計画 37,800 人に対し十分達成した。

基礎的事業

景観法に 基づく届出・ 確認制度	事業 概要	一定規模以上の建築物の建築・増築・修繕や工作物の新設などを行う場合、景観法で定める届出及び通知を受理することにより、建物の配置、外観デザイン、色彩などについて定めた基準を遵守しているか確認を行った。
------------------------	----------	---

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)

A:十分達成した(90%以上) C:やや不十分だった(70%以上)

B:概ね達成した(80%以上) D:不十分だった(70%未満)

施策 28 商工業

商工業では、施策の目標である、商工業の活性化、適正な計量の推進、食品流通の円滑化を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

41 女性起業家 支援事業	事業概要	女性の起業者や起業予定者に対して、創業支援事業計画に基づく各種支援事業を実施し、女性が起業しやすく、また、経営の安定化を図ることができる環境づくりを推進した。
	事業費	■3年間合計で 約 1,550 万円 当初計画した事業費の約90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク 各種事業の参加者数・支給件数が 3 年間の合計で約 470 件と見込まれ、当初の計画 360 件に対し十分達成した。
42 地域ブランド 活性化事業	事業概要	「市川のなし」をはじめとする農産物や水産物、市民の花として親しまれているバラなど本市の地域資源を掘り起こし、それを活用した新たな商品の開発・PRなどを行うことで、魅力のある商店づくりを推進し、地域経済の活性化を図った。
	事業費	■3年間合計で 約 870 万円 当初計画した事業費の約90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ C ランク 参加店舗数が3年間の合計で約310店と見込まれ、当初の計画405店に対しやや不十分だった。 これは、商品のPR事業について市川商工会議所と重複していた部分を見直したことなどによるもの。

基礎的事業

中小企業 融資制度	事業概要	中小企業者の事業資金調達を容易にするため、市融資制度の取扱金融機関に融資原資の一部を預託した。また中小企業者に対し利子補給をすることにより、金利負担を軽減し、経営の安定化と中小企業者の振興を図った。
--------------	------	---

施策 29 都市農業

都市農業では、施策の目標である、環境に配慮した農業の推進、活力に満ちた農業の推進、市民に親しまれる農業の推進を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

43 施設園芸 支援事業	事業概要	都市農業の振興を目的として、施設園芸ハウスの新設・規模拡大や省エネルギー機器の導入等を支援し、施設園芸栽培の推進と農業経営の安定化を図った。
	事業費	■3年間合計で 約 5,080 万円 新規・規模拡大支援及び環境保全型支援を要望する農家が増えたため、当初計画した事業費の約 180%の支出が見込まれ、計画を大きく上回る事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク 各種補助金の支給件数が3年間の合計で約 18 件と見込まれ、当初の計画 7 件に対し十分達成した。

基礎的事業

都市農業 振興支援事業	事業概要	都市農業の振興に向けて、農業生産施設・省力機械等の整備に対する補助金など農業経営への支援、認定農業者制度等を活用した農業者の育成・確保、減農薬栽培等の環境保全型農業への取り組みを推進するとともに、市川産農産物の PR イベント等を実施し、その普及拡大を図った。 また、野生鳥獣による農作物への被害を抑制するための対策を推進した。
体験農園事業	事業概要	市内の遊休農地を活用した作物の栽培体験を通して、市民の農業に対する理解を深めてもらうとともに、地産地消等の食育や健康づくりの実践の場として市民農園の整備・運営を行った。

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)

A: 十分達成した(90%以上) C: やや不十分だった(70%以上)

B: 概ね達成した(80%以上) D: 不十分だった(70%未満)

施策 30 水産業

水産業では、施策の目標である、持続可能な漁業環境及び経営・流通環境の整備、市民と共存する都市型水産業の振興を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

44 市川漁港 整備事業	事業 概要	漁業環境の向上を図るため、市川漁港の整備を行った。
	事業費	■3年間合計で 約26億7,930万円 老朽化した護岸の整備の必要性が生じたことなどにより、当初計画した事業費の約 150%の支出が見込まれ、計画を大きく上回る事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ A ランク 各年度に計画した漁港整備工事に対する進捗が3年間の平均で約 130%と見込まれ、当初の計画 100%に対し十分達成した。

基礎的事業

魚食文化 フォーラム事業	事業 概要	生産者、消費者、小売業者等で構成された魚食文化フォーラム実行委員会が行う水産物消費拡大等の事業に負担金を支出した。
-----------------	----------	---

(基本目標4 人と自然が共生するまち)

施策 31 自然環境

自然環境では、施策の目標である、生物多様性の確保、自然とふれあえる機会づくりを図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

45 生物多様性等 推進事業	事業概要	生物多様性いしかわ戦略に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用を推進するため、関連施策の総合調整を行うとともに、生物多様性の実態把握のためのモニタリング調査、多様な主体との協働を目指した啓発活動等を実施した。 また、2020年に予定されているいしかわ戦略の見直しを見据えて、基礎データを収集するため水生生物調査を実施し、見直しに向けた作業を行った。
	事業費	■3年間合計で 約 770 万円 競争入札の結果、計画よりも安価に事業を実施できたことにより、当初計画した事業費の約 80%の支出が見込まれる。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク モニタリング調査及び啓発事業への参加者数が3年間の合計で約 490 人と見込まれ、当初の計画 510 人に対し十分達成した。

基礎的事業

自然環境 管理事業	事業概要	樹林地評価制度の運用、民有緑地等の保全協定の締結、みどりのボランティアの活動支援等を実施したほか、大柏川ビジターセンター等の管理や自然環境講座の実施により、市民に身近な自然と親しむ場を提供した。また、絶滅危惧種イノカシラフラスコモの保護保全に関する取り組みを行った。
--------------	------	---

施策 32 公園・緑地

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)

A: 十分達成した(90%以上) C: やや不十分だった(70%以上)

B: 概ね達成した(80%以上) D: 不十分だった(70%未満)

公園・緑地では、施策の目標である、地域の緑の保全と活用、魅力ある公園の提供、花と緑が豊かなまちづくり、水と緑のネットワークの形成を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

46 小塚山公園 整備事業	事業概要	隣接する堀之内貝塚公園との連携強化を図り、特色ある地区公園づくりのため、小塚山公園の拡充整備を行った。(整備面積: 1.9ha)
	事業費	■3年間合計で 約 3 億 4,190 万円 平成 28 年度に実施したワークショップでの参加者の意見を取り入れたことに伴い、当初計画した事業費の約 190%の支出が見込まれ、計画を大きく上回る事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク 各年度に計画した整備事業に対する進捗が 3 年間の平均で約 90%と見込まれ、当初の計画 100%に対し十分達成した。

基礎的事業

斜面緑地崩壊 対策事業	事業概要	急傾斜地崩壊危険個所に指定されている市所有の緑地の崩壊を防ぐため、斜面整備を行った。
公園施設 維持管理事業	事業概要	ガーデニング・シティいちかわ事業により公共施設等に整備されたバラ・草花等の維持管理を行った。
青空こども 広場整備事業	事業概要	就学前児童を対象に安心して遊べる空間を確保するため、青空こども広場を整備した。

施策 33 河川・水辺

河川・水辺では、施策の目標である、水辺の環境の保全、三番瀬の再生・保全、親しみのある水辺空間の創造を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

基礎的事業

三番瀬の 保全・再生	事業概要	水辺に近づくことができる干潟のような空間を創造するなど、市民が身近に自然と触れ合い、憩いとやすらぎが得られる場の確保を求め、県への働きかけを行った。
---------------	------	--

施策 34 地球環境

地球環境では、施策の目標である、地球環境問題への理解と意識の醸成、地球温暖化への対応を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

47 地球温暖化 対策推進事業	事業概要	市川市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に基づく二酸化炭素の削減目標を達成するため、市民、事業者、市等の協働による取り組みを行った。
	事業費	■3年間合計で 約890万円 当初計画した事業費の約90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ A ランク 啓発事業への参加者数が3年間の合計で約59,190人と見込まれ、当初の計画66,000人に対し十分達成した。

基礎的事業

スマートハウス 普及促進事業	事業概要	市民が住宅に設置する省エネルギー設備等に対し、その設置費の一部を助成した。
-------------------	------	---------------------------------------

施策 35 生活環境

生活環境では、施策の目標である、身近な環境の保全、市民の健康と安全で清潔な生活環境の保持を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

48 大気汚染 対策事業	事業概要	大気環境を保全するために、大気汚染自動測定機を計画的に整備し、大気環境の常時監視を行った。また、大気汚染防止法及び市川市環境保全条例に基づき事業者に対する規制等を行うことで、大気汚染の防止に努めた。
	事業費	■3年間合計で 約1億3,320万円 当初計画した事業費の約90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組状況	■目標達成率※ Cランク 大気汚染自動測定機整備件数が3年間の合計で約13件と見込まれ、当初の計画17件に対しやや不十分だった。これは、大気環境常時監視体制の見直しを行い、当初計画から測定機の更新台数の抑制を図ったことによるもの。

基礎的事業

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)
A:十分達成した(90%以上) C:やや不十分だった(70%以上)
B:概ね達成した(80%以上) D:不十分だった(70%未満)

水質汚濁防止 対策事業	事業 概要	水質汚濁の防止を図るため、公共用水域及び地下水の監視並びに事業者への規制等を行った。
市民マナー 条例推進事業	事業 概要	健康と安全で清潔な生活環境の実現を図るため、路上喫煙等の条例違反者に対し、過料を科している市民マナー条例推進指導員の巡回体制を、より効果的な時間帯に巡回できるように見直し、実施した。また、条例周知のために、電柱表示板や看板の設置など、新たな表示物の開発や啓発活動を行った。

施策 36 資源循環型社会

資源循環型社会では、施策の目標である、3Rの推進、廃棄物の適正処理の推進を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

重点事業

49 ごみ発生抑制 等啓発事業	事業 概要	ごみの発生抑制を図るため、ごみの減量と資源物の分別の視点から、市民に対し紙媒体やITなどを活用した情報提供を行うとともに、各地域での説明会の開催や市民が集うイベントでの啓発活動を実施した。
	事業費	■3年間合計で 約 1,660 万円 当初計画した事業費の約 100%の支出が見込まれ、計画どおりの事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ A ランク 出前説明会の参加者数が3年間の合計で約 4,750 人と見込まれ、当初の計画 3,900 人に対し十分達成した。

基礎的事業

循環的利用 推進事業	事業 概要	市川市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(いちかわじゅんかんプラン21)に基づき、資源の循環的な利用を推進するため、資源物とごみの分別収集に取り組むほか、各種啓発活動を行った。
ごみ収集運搬 及び不適正 排出対策事業	事業 概要	資源物とごみの12分別により適正に排出された一般廃棄物の収集運搬を行うとともに、不適正に排出されたものは、収集しないなどの措置を取り、排出者等に啓発・指導を行った。

(基本目標5 市民と行政がともに築くまち)

施策 37 協働・市民参加

協働・市民参加では、施策の目標である、協働によるまちづくりの推進、市民参加の推進を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

▶▶▶基礎的事業

大学との連携 (包括協定推進事業)	事業 概要	大学と行政の双方が持つ資源を相互に活用し、地域貢献を目的とした連携事業等を推進した。
e-モニター 制度運営事業	事業 概要	市民等の意見を市政に反映させるため、各所管課が作成したアンケートをe-モニター制度の登録者へ電子メールで配信した。また、その回答を所管課が活用するために集計等を行うシステムの管理・運営を行った。

施策 38 情報の発信・提供

情報の発信・提供では、施策の目標である、市民と行政の情報の共有化、公文書の正確、迅速な取り扱い、情報公開の一層の推進を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

▶▶▶重点事業

50 シティセールス 事業	事業 概要	本市が実施する取り組みや魅力を市内外に発信するシティセールスを実施した。
	事業費	■3年間合計で 約 4,790 万円 シティセールス方針に基づき、当初想定していた事業に加えてデジタルサイネージの増設などに取り組んだため、当初計画した事業費の約 140%の支出が見込まれ、計画を大きく上回る事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ A ランク シティセールス事業の実施件数が 3 年間の平均で 1.3 件と見込まれ、当初の計画1件に対し十分達成した。

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)

A: 十分達成した(90%以上) C: やや不十分だった(70%以上)

B: 概ね達成した(80%以上) D: 不十分だった(70%未満)

▶▶▶基礎的事業

広報紙 発行事業	事業 概要	月2回の「広報いちかわ」の発行では、市民と市が目的を共有し市民参加が図られるよう、タイムリーな情報提供とわかりやすい紙面づくりを行った。
SNS 活用事業	事業 概要	ソーシャルメディアを活用し、行政情報だけにとどまらず、幅広いジャンルでの街の魅力発信を行った。
保存文書 整備事業	事業 概要	公文書の適正で効率的な管理を図るため、検索データの作成、執務室の文書整理、文書及びマイクロフィルムの保管を行った。
情報公開・ 個人情報 保護事業	事業 概要	情報公開の一層の推進と個人情報の適切な保護を図るため、公文書公開審査会及び個人情報保護審議会を開催するとともに、市政情報センター等の資料の整備を進めた。

施策 39 地域コミュニティ・市民活動

地域コミュニティ・市民活動では、施策の目標である、地域コミュニティの活性化、市民活動の活性化と公共サービスの担い手の創生を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

▶▶▶重点事業

51 自治会総合 支援事業	事業 概要	自治会の総合支援として加入促進・PR活動を行うとともに、集会施設の整備を支援するため、自治会の要望に応じて整備や用地借上げ費用等の一部を補助した。
	事業費	■3年間合計で 約 8,550 万円 集会施設の整備については、実施可能な自治会からの要望をもとに予算要求を行っていたが、実際の自治会からの要望が減となったことから、当初計画した事業費の約 80%の支出が見込まれ、計画を下回った。
	取組 状況	■目標達成率※ A ランク 地域活動育成塾の参加者数が3年間の合計で約 350 人と見込まれ、当初の計画 300 人に対し十分達成した。

52 いちかわ 市民活動 サポート事業	事業 概要	市内で公共性の高い活動を行っている団体の事業に対し、補助金を交付した。また、個人、企業から寄附を募り、基金を設置し、積立額から市民活動団体へのサポートと個人ボランティア活動促進のためのサポートを実施した。
	事業費	■3年間合計で 約 5,200 万円 当初計画した事業費の約 90%の支出が見込まれ、概ね計画どおりの事業費により実施した。
	取組 状況	■目標達成率※ C ランク 市民活動団体事業補助金支給件数が3年間の合計で約 280 件と見込まれ、当初の計画 355 件に対しやや不十分だった。 これは、補助金による支援を受けて多くの団体の自立や持続的発展及び持続性の低下が影響したことなどによるもの。

▷▷▷基礎的事業

ボランティア 活動等 支援事業	事業 概要	ボランティア活動を促進するために、ボランティア体験イベント等を掲載した情報誌の発行を行った。
-----------------------	----------	--

施策 40 政策展開

政策展開では、施策の目標である、情報の収集と整備、法務能力の向上、施策の評価と反映を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

▷▷▷基礎的事業

職員への法務 情報の発信	事業 概要	職員に対し、裁判の判決、法律等の改正等の情報発信を行った。
-----------------	----------	-------------------------------

※取組状況の目標達成率(=実績の数値/計画の数値目標)

A: 十分達成した(90%以上) C: やや不十分だった(70%以上)

B: 概ね達成した(80%以上) D: 不十分だった(70%未満)

施策 41 行政体制

行政体制では、施策の目標である、適正な人事管理、定員の適正化、民間活力の活用、公正性、効率性の確保を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

▶▶▶基礎的事業

職員研修の実施	事業概要	職員の資質や能力を向上させるための研修等を実施した。
行財政改革の推進	事業概要	行財政改革大綱アクションプランに基づき、アウトソースの活用や定員適正化等の推進を図った。
公共施設の整備・運営に関する PPP の推進	事業概要	公共施設の整備や運営に対する PPP(公民連携)手法の活用を推進することで、市民サービスの向上や財政負担の軽減等を図った。

施策 42 窓口・相談機能

窓口・相談機能では、施策の目標である、市民相談機能の充実、窓口サービスの充実を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

▶▶▶基礎的事業

総合市民相談事業	事業概要	市民目線に立った相談の充実を図るため、市民相談員及び弁護士等の専門家による相談を実施した。
パスポート発給事業	事業概要	窓口サービスの充実を図るため、市川市パスポートセンターでパスポートの申請及び交付を行い、市民の利便性を高めた。

施策 43 財政運営

財政運営では、施策の目標である、財政健全化の推進、自主財源の充実・確保を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

▶▶▶基礎的事業

納税環境整備事業	事業概要	納税者の利便性の向上を図るため、マルチペイメントネットワークや、コンビニエンスストア、クレジットカードなどでの納税及び口座振替を実施した。
----------	------	---

施策 44 広域行政

広域行政では、施策の目標である、広域行政の推進を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

▶▶▶基礎的事業

広域行政 推進事業	事業 概要	近隣自治体等との連携の推進を図るため、情報交換や共通課題の解決に向けた調査・研究などを行った。
--------------	----------	---

施策 45 情報化

情報化では、施策の目標である、電子行政サービスの刷新と拡充、ICT を活かした行政事務の効率化の推進、情報システムの安全性の強化を図るため、下記の実施計画事業に取り組みました。

▶▶▶基礎的事業

個人番号カード 普及事業	事業 概要	マイナンバー制度が開始されたことに伴い、個人番号通知カード及び個人番号カードを交付した。
情報システム 運用管理事業	事業 概要	情報システム及び情報システム機器等の安定運用を図った。
情報 セキュリティ 強化対策事業	事業 概要	個人情報の流出などに対処するための情報セキュリティを強化した。

※取組状況の目標達成率(＝実績の数値／計画の数値目標)

A: 十分達成した(90%以上) C: やや不十分だった(70%以上)

B: 概ね達成した(80%以上) D: 不十分だった(70%未満)

市川市の未来のためご協力をお願いします

結婚・出産・子育て・定住に関する市民アンケート ご協力ください

日ごろから市政の運営にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、市川市では、将来予想される人口減少などを踏まえ、将来にわたりまちの活力を維持し続けることができるよう検討を進めております。

そこで、18歳以上の市民の方を対象に、結婚・出産・子育て・定住の考え方などについてのアンケート調査をお願いし、人口減少の抑制や人口構成の変化への対応に取り組むための参考資料として活用させていただきたいと考えております。

このアンケートは、対象となる方の中から4,000人をコンピューター処理により無作為に抽出し、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、すべて統計的に処理いたしますので、皆様にご迷惑をおかけすることはございません。また、調査結果は調査の目的以外に利用されることはありませんので、お考えのままをご回答ください。

調査の趣旨にご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年10月 市川市

<<ご記入にあたって>>

1. この調査は、令和元年9月1日現在の状況でお答えください。
2. 調査は無記名です。お名前は書かないよう、お願いいたします。
3. このアンケートには、宛名のご本人がご記入くださいますよう、お願いいたします。
4. 回答は、質問ごとに用意した選択肢の中から、お考えにあてはまる番号に○印をつけて下さい。
なお、質問文にある（○は1つだけ）、（○は3つまで）などをご確認下さい。
5. 選択肢に（ ）がある場合には、カッコ内に具体的な内容・年齢・地名などをご記入下さい。
6. 記入いただいた調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

11月11日（月）までに投函して下さい。

7. この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

市川市企画部企画課 TEL 047-712-8591（直通）

1 あなたご自身（アンケートの宛名の方）のことについてお伺いします

問1 あなたご自身（アンケートの宛名の方）のことについてお答えください。

（設問ごとに○は1つだけ）

設 問	回 答 欄		
①性 別	1. 男性	2. 女性	3. その他
②年 齢	1. 20 歳未満 4. 30 歳～34 歳 7. 45 歳～49 歳 10. 60 歳～64 歳 13. 75 歳～79 歳	2. 20 歳～24 歳 5. 35 歳～39 歳 8. 50 歳～54 歳 11. 65 歳～69 歳 14. 80 歳以上	3. 25 歳～29 歳 6. 40 歳～44 歳 9. 55 歳～59 歳 12. 70 歳～74 歳
③就業形態	1. 正社員・正規職員 2. パート・アルバイト 3. 派遣・嘱託・契約社員 4. 経営者・役員 5. 自営業主・家族従業者（農林水産業含む） 6. 学生 7. 専業主婦 8. 無職 9. その他（ ）		
④お住まいの 地区	1. 国府台	国府台	
	2. 国分	北国分・中国分・堀之内・稲越町・東国分・国分	
	3. 曽谷	曽谷	
	4. 大柏	大町・大野町・南大野・柏井町・奉免町	
	5. 宮久保・下貝塚	宮久保・下貝塚	
	6. 市川第一	市川・市川南 3～4 丁目・真間 1 丁目	
	7. 市川第二	市川南 1、2、5 丁目・新田・平田・大洲・大和田・稲荷木・東大和田	
	8. 真間	真間 2～5 丁目	
	9. 菅野・須和田	菅野・須和田・東菅野	
	10. 八幡	八幡・南八幡	
	11. 市川東部	北方町・本北方・若宮・北方・中山・鬼越・高石神・鬼高	
	12. 信篤・二俣	田尻・高谷・原木・二俣・上妙典・二俣新町・高谷新町・東浜	
	13. 行徳	河原・妙典・下妙典・下新宿・本行徳・本塩・関ヶ島・伊勢宿・富浜・未広・塩焼・宝・幸・加藤新田・高浜町・千鳥町	
	14. 南行徳第一	押切・湊・湊新田・香取・欠真間・相之川・広尾・新井・南行徳・島尻	
	15. 南行徳第二	行徳駅前・入船・日之出・福栄・新浜・塩浜	
⑤市川市内での 居住年数	1. 1 年未満 2. 1 年～5 年未満 3. 5 年～10 年未満 4. 10 年～20 年未満 5. 20 年～30 年未満 6. 30 年以上		

設 問	回 答 欄
⑥家族構成	1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ（双方又は片方が 65 歳以上） 3. 夫婦のみ（2 以外） 4. 夫婦と子ども（末子が小学校就学前） 5. 夫婦と子ども（末子が小中学生） 6. 夫婦と子ども（4, 5 以外） 7. ひとり親と子ども（末子が小学校就学前） 8. ひとり親と子ども（末子が小中学生） 9. ひとり親と子ども（7, 8 以外） 10. 三世代家族（親・子・孫） 11. その他（ ）
⑦勤務先 ・通学先	1. 市川市内 2. 千葉県内（市町村） 3. 東京都内（区市町村） 4. 神奈川県内（市町村） 5. 埼玉県内（市町村） 6. その他の地域（道府県） 7. 自宅が勤務場所 8. 通勤・通学していない } →問 2-1 へ
⑧職場・学校 までの通勤 ・通学時間	1. 30 分未満 2. 30 分以上 1 時間未満 3. 1 時間以上 1 時間 30 分未満 4. 1 時間 30 分以上 2 時間未満 5. 2 時間以上

2 結婚についてお伺いします

問 2-1 あなたは結婚していますか。（○は 1 つだけ）

1. 未婚	→問 2-2 へ
2. 既婚	} →問 2-4 へ
3. 結婚の予定がある	
4. 以前結婚していた又は死別している	

問 2-2 問 2-1 で「1. 未婚」と回答した方に伺います。結婚に対するお考えをお聞かせください。（○は 1 つだけ）

1. できるだけ早く結婚したい	} →問 2-3 へ
2. 時期にはとらわれたくないがいずれしたい	
3. 結婚はまだ考えていない	
4. 結婚したくない	→問 4-1 へ

問 2-3 問 2-2 で「1. できるだけはやく結婚したい」「2. 時期にはとらわれたくないがいずれしたい」「3. 結婚はまだ考えていない」と回答した方に伺います。現在のあなたの年齢と希望する結婚年齢はいくつですか。() 内に年齢を記入ください。

現在のあなたの年齢	現在の年齢は（ 歳）
希望する結婚年齢	（ 歳）頃に結婚したい

問2-4 未婚・晩婚化の原因としてどのようなことを感じていますか。

(最もあてはまるものに○を1つだけ)

1. 職場や周囲に未婚の異性がいない
2. 異性にめぐり会う機会（場）がない
3. 安定した仕事についていない
4. 結婚できるだけの金銭的な余裕がない
5. 仕事が忙しく、時間（休み）がとれない
6. やりたいことや打ち込みたいことがある
7. 将来に希望を見いだせない
8. 結婚の必要性を感じていない
9. 仕事（学業）に専念したい
10. 異性とうまくつきあえない
11. 独身の自由な生活や気楽さを失いたくない
12. 現在の生活レベルを落としたいくない
13. 親の介護など家庭の事情により、結婚する環境でない
14. その他（ ）

問 2-5 結婚したいと思える環境をつくるには、どのような支援・取り組みが効果的だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 男女の出会いの場の提供
2. 結婚・子育て等のライフイベントに関する相談窓口の充実
3. 安定して収入を得られる雇用機会の提供
4. 夫婦がともに働き続けられる職場環境の充実
5. 住宅取得に関する資金貸与や家賃補助などの支援
6. 長時間労働の是正、有給休暇の取得促進などによる自由な時間の確保
7. 優良な住宅の供給
8. 女性が働きやすい環境づくり
9. 結婚は個人の問題なので行政の支援は必要ない
10. その他（ ）

3 出産・子育てについて伺います

問 3-1 現在のお子さんの人数と希望している（理想とする）お子さんの人数をお聞かせください。
（設問ごとに○は1つだけ）

現在のお子さんの人数	1. 1人 4. 4人	2. 2人 5. 5人以上（人）	3. 3人 6. いない
希望している（理想とする）お子さんの人数	1. 1人 4. 4人 6. 子どもは持たない予定	2. 2人 5. 5人以上（人）	3. 3人
希望に対する現在のお子さんの状況	1. 希望より実際の子どもの数が少ない → 問 3-2 2. 希望より実際の子どもの数が多い 3. 希望と実際が同じ状況		

問 3-2 問 3-1 の希望に対する現在のお子さんの状況で、「1. 希望より実際の子どもが少ない」と回答した方に伺います。それはどのような理由によると思われますか。(○は3つまで)

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2. 家が狭いから
3. 自分の仕事（勤めや稼業）に差し支えるから
4. 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
6. 高年齢で出産が困難だから
7. これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
8. 健康上の理由から
9. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから
10. 配偶者が望まないから
11. 末子が親の定年退職までに成人してほしいから
12. 収入が不安定なため
13. 正規社員ではなく、将来の雇用に不安があるため
14. 今いる子どもに手がかかるため
15. 保育所などの預け先がないため
16. その他（ ）

問 3-3 お子さんがいる方に伺います。初めてのお子さん（第1子）を出産した後、母親の就労状況はどのように変化しましたか。（○は1つだけ）

1. 産後休業後、育児休業をとらずに職場に復帰して就業を継続した
2. 育児休業後、職場に復帰して就業を継続した
3. 出産を機に退職した
4. 妊娠前から専業主婦だった
5. その他（

問 3-4 出産・子育てしやすい環境づくりのためには、どのような支援・取り組みが効果的だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 育児休業制度の充実（期間の延長、育児休業中の所得の補償など）
2. 男性の育児休業取得の奨励
3. 長時間労働の是正、有給休暇の取得促進などによる育児時間の確保
4. 企業による育休明けの働き方に関する支援
5. 妊娠～出産～子育てに関する一環した相談・サポート体制の整備
6. 子育てにかかる経済的負担の軽減
7. 保育所などの預け先の拡充
8. 子育て世帯への住宅購入に関する補助や支援
9. 子育てに関する情報提供の充実
10. 幼児教育の充実
11. 多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービス（病後児保育・一時預かり等）の充実
12. 子どもが安心して遊べる場の充実
13. 家事・育児を支援するホームヘルパー制度
14. 母子保健・小児救急医療の充実
15. その他（ ）

4 市川市への定住について、お考えをお伺いします

問 4-1 あなたの現在のお住まいについてお答えください。(○は1つだけ)

1. 持家（一戸建て）
2. 持家（分譲マンション）
3. 民間賃貸住宅（一戸建て）
4. 民間賃貸住宅（アパート、賃貸マンション）
5. 県営住宅、市営住宅
6. 会社や大学の寮や社宅
7. その他（ ）

問 4-2 あなたはこれから市川市に住みたいと思われませんか。(○は 1 つだけ)

- | | | |
|---------------------|---|----------|
| 1. 住み続けたい | } | →問 5-1 へ |
| 2. どちらかといえば住み続けたい | | |
| 3. いつかは、市外へ引っ越しをと思う | } | →問 4-3 へ |
| 4. 近々市外へ引っ越しを予定している | | |

問 4-3 問 4-2 で「3. いつかは、市外へ引っ越しをと思う」「4. 近々市外へ引っ越しを予定している」と回答した方に伺います。どちらへ引っ越しを考えていますか。(○は 3 つまで)

- | | | | | |
|----------------|--------|-------------|--------|---------|
| 1. 船橋市 | 2. 松戸市 | 3. 浦安市 | 4. 千葉市 | 5. 習志野市 |
| 6. 江戸川区 | 7. 江東区 | 8. 葛飾区 | 9. 墨田区 | |
| 10. その他の千葉県内 (| | 市町村) | | |
| 11. その他の東京都内 (| | 区市町村) | | |
| 12. その他の地域 (| | 道府県 または 国外) | | |

問 4-4 問 4-2 で「3. いつかは、市外へ引っ越しをと思う」「4. 近々市外へ引っ越しを予定している」と回答した方に伺います。これから市川市内の住みやすさが向上することで、市外への引っ越しをしなくなることはあるとお考えですか。(○は 1 つだけ)

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1. 引っ越しをしなくなる可能性は <u>ある</u> | →問 4-5 へ |
| 2. 引っ越しをしなくなる可能性は <u>ない</u> | →問 5-1 へ |

問 4-5 問 4-4 で「1. しなくなる可能性はある」と回答した方に伺います。どのような点で、これから市川市の住みやすさが向上した場合、市外への引っ越しをしなくなるものと思われませんか。
(○は 3 つまで)

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. 買い物が便利になる | 2. 大型商業施設が充実する |
| 3. 娯楽施設や飲食店などが充実する | 4. 病院や診療所などの医療機関が充実する |
| 5. 道路交通が便利になる | 6. 公共交通機関が便利になる |
| 7. 住宅価格や家賃が手頃になる | 8. 保育園や子育て施設等が充実する |
| 9. 高齢者や障害者のための施設等が充実する | 10. 公園等が充実する |
| 11. 図書館、スポーツ施設などの公共施設が充実する | |
| 12. 治安が良くなる | 13. 災害に強くなる |
| 14. 地域の活動や近所の助け合いが活発になる | 15. まち並みやまちの雰囲気良くなる |
| 16. まちのイメージが向上する | 17. 都市生活と自然のバランスが良くなる |
| 18. 教育や文化に対する親しみが増す | |
| 19. 建物や土地などの資産価値が高く(落ちづらく)なる | |
| 20. その他 (|) |

5 市川市のイメージや今後の取り組みについてご意見をお伺いします

問 5-1 現在の市川市について、どのようなまちであると感じていますか。

(設問ごとに最もあてはまる番号に○を1つ)

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
①愛着や親しみを感じるまちですか	5	4	3	2	1
②安心して妊娠・出産できるまちですか	5	4	3	2	1
③子育てしやすいまちですか	5	4	3	2	1
④住み続けたい魅力のあるまちですか	5	4	3	2	1
⑤高齢者を地域で支えているまちですか	5	4	3	2	1
⑥文教都市のイメージどおり教育が充実しているまちですか	5	4	3	2	1
⑦みどりやまち並みの美しいまちですか	5	4	3	2	1
⑧安心して暮らせるまちですか	5	4	3	2	1
⑨文化・歴史・伝統に誇りや愛着を持てるまちですか	5	4	3	2	1
⑩人の流れが多く、賑わいのあるまちですか	5	4	3	2	1
⑪自治会活動など、地域の一員としての市民意識が高いまちですか	5	4	3	2	1
⑫ひとに紹介したくなるまちですか	5	4	3	2	1

問 5-2 その他市川市について、あなたが感じていることはどのようなことですか。(○はいくつでも可)

1. 買い物が便利である
2. 近くに大型商業施設が充実している
3. 近くに娯楽施設や飲食店などが充実している
4. 病院や診療所などの医療機関が利用しやすい
5. 道路交通が便利である
6. 交通の便がよく通勤・通学が楽である
7. 学校・職場などから近い

8. 住宅価格や家賃が手頃である
9. 保育園や子育て施設等が充実している
10. 高齢者や障害者のための施設等が充実している
11. 公園等が充実している
12. 図書館、スポーツ施設などの公共施設が充実している
13. 治安が良い
14. 災害に強い
15. 地域の活動や近所の助け合いが活発である
16. まち並みやまちの雰囲気が良い
17. まちのイメージがよい
18. 都市生活と自然のバランスがとれている
19. 教育や文化に親しみがある
20. 建物や土地などの資産価値が高い（落ちづらい）場所である
21. その他（ ）

問 5-3 市川市に定住したいと思う方を増やすために、市で実施したほうが良い取り組みや支援はどのようなものだと思いますか。（〇は3つまで）

1. 若者の安定就労を支援する取り組み
2. 親世帯と子世帯が同居や近居するための支援
3. 子育て世帯への住宅購入に関する補助や支援
4. 仕事と生活の両立（ワークライフバランス）支援
5. 安心して妊娠・出産・子育てができる切れ目ない相談・支援体制の整備
6. 公立小中学校における課外授業や放課後学習の充実
7. 街頭イルミネーションやガーデニングによる魅力的なまち並みや景観の整備
8. 住宅のリフォーム助成
9. 防犯対策の強化
10. 市内の文化財や文化施設までの案内表示、駅前や街頭にある公共サインのデザインの統一化
11. 起業を希望する人への相談支援や起業資金の助成
12. 元気な高齢者が活躍できる機会・場の充実
13. 介護施設の増設や介護サービスの拡充
14. 自治会など、地域活動の活性化
15. 市税の減税
16. 子どもの医療費助成の拡充（すべての子育て家庭へ助成を拡充）
17. 市のイメージ向上につながるシティプロモーション
18. その他（ ）

問 5-4 現在、市川市で実施している取り組みや事業について、どの程度知っていますか。

(設問ごとに最もあてはまる番号に○を1つ)

	詳しく 知っている	やや 知っている	全く 知らない
①女性起業家支援事業 起業を希望する女性へのセミナー開催や資金支援等	3	2	1
②婚活支援事業 あいステップ 男女の出会いと交流の場の提供	3	2	1
③母子保健相談窓口 アイティ 妊娠期から子育て期にわたるまでの総合相談支援	3	2	1
④子育て応援サイト いちかわっこWEB 市だけでなく民間団体による子育てイベントや情報の提供	3	2	1
⑤夢の教室 小学校で実施するトップアスリートによる講義・実技	3	2	1
⑥校内塾・まなびくらぶ 放課後や長期休業中等の基礎的な学習機会の提供	3	2	1
⑦認知症カフェ 認知症の方やその家族、地域の方などのつながりを支援	3	2	1
⑧子育て世帯同居近居スタート応援補助金 子育て世帯と祖父母世帯との市内での同居近居支援	3	2	1
⑨ガーデニング・シティいちかわ事業 ガーデニングによる市民交流を通じた景観意識の高揚	3	2	1
⑩シティセールス事業 本市の魅力を広く市内外に発信していく取り組み	3	2	1

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、11月11日(月)までに投函してください。